No.3

>>> Contents

●業界キーマンは語る 桑園等基盤整備を優先した施策の実施を望む -逆境を跳ね返し、純国産絹織物へ-・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- 0
●提携支援センターから 創業335年の三越、日本の伝統文化を守り育てて、純国産絹織物「白無垢」を販売・・・ 提携支援センター活動日誌№ 3・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- 6 - 6 - 7
●今月の話題 「付加価値の高い蚕糸業」を目指した取り組みと今後の課題 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- B
●国内情報 「きびそ」を活用した「鶴岡シルクプロジェクト」立ち上がる 鶴岡織物工業組合 理事 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- •
トピックス国内産地情報、海外情報(中国)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- 33
●シルク豆辞典 シルクの豆辞典 (18) 桑の薬効 (1) — 桑は仙薬の上首 — ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- 26
●イベント情報●登録コーディネーター一覧●	
●蚕糸関係博物館一覧 — 3 ●統計資料 — 3 (統計資料の詳細は統計資料日次をご覧下さい)	

業界キーマンは語る



桑園等基盤整備を優先した施策の実施を望む

-逆境を跳ね返し、純国産絹織物へ-

丹後織物工業組合

理事長 渡邉 正義

「国内繭・生糸の安定供給体制の確立を 急いでほしい」と声を大きくして要望した い。蚕糸・絹業提携システムを構築し、継 続的に純国産絹織物の供給をしていくため には、桑園などの基礎的な基盤が重要と考 える。そして、優良な繭の安定供給を行っ てほしいというのが、本音。

機屋の経営者も次第に高齢化(丹後生産者平均年齢約60歳)していく傾向にあるが、養蚕農家の高齢化は著しいと聞く。原料の確保を重視した対策が望まれる。

私が最近中国に行った時の状況は、「生産環境が悪化」し、かつ、大気汚染等もあり「桑質が劣化」し、悪い繭や弱い蚕となっている。このため、中国の杭州にある製糸工場(Z80工場)では、自社で桑園を造成し、優良繭の確保を図る動きが顕著となってきている。

日本においても「しっかりと国産繭・生 糸確保のため、大規模な桑園造成の施策」 の検討をお願いしたい。

振袖中心の商品構成

丹後産地は、大手機屋の減産基調などで、 年間計画 65 万反を若干下回る生産状況と なっている。小売店の販売不振が大きな要 因。

消費者には、「愛染蔵・たけうち」の倒産に見られるように、きものの販売方法(ローン販売と過量販売)に対する不信がまだあると考えている。

また、このような小売店の倒産により、 在庫商品が市場還流され、長期にわたって 在庫整理ができず、新たな染潰しがない状 況が続いている。当然のこと、織物の生産 に響き、減産となっている。

白生地販売については、着尺ものの売れ 行き不振の中で振袖用が主流となってきて いるが、海外からの輸入織物も振袖用にシ フトしてきている。価格競争に揉まれてい るのが現状と言える。上代設定も低額とな り、輸入品が主流。国内必要量の不足分を 丹後の商品で充当する体制となっている。 一方、海外の蚕糸絹業事情としては、中 国糸やブラジル糸の値上げが特徴的に挙げられる。だが、この生糸の値上げ分につい ては、国内の機屋が負担せざるを得ない状況で、機屋はより採算が悪化する要因とも なっている。

この結果、丹後産地では減機生産調整が 進み、絹織物生産環境はより劣悪となって きているのが丹後の実情である。

「品質と価格」が大きな課題と言える。

上州絹星は素晴らしい生糸に

海外商品との価格競争は厳しいものがあるが、純国産絹織物として品質の良い商品はできると思う。

その代表としては、「特徴ある繭(上州 絹星)」による生糸がある。中国糸で織っ た織物と比べると、上州絹星による織物は 「しっとり感」「地厚感」「白度が高い」な どの特徴がある。上州絹星の生糸は、厚み のある立体的な織物を表現できる。機屋と しては、とっても良い生糸である。ただし、 品質面で節が多いのと価格が高い。

このような特徴ある生糸の供給をお願いしたい。そのためには、何より「選繭の徹底」「節の少ない生糸」を作っていただきたいと思っている。

特に、選繭については、農家の段階、製 糸工場の段階と二段階で徹底していただき たい。品質の悪い節の多い糸は、織物にす るのに「コストアップ」となり、かつ、「良 い商品はできない」ので、ぜひ、機屋の要 望する糸の供給をお願いいたしたい。

消費者の意見を反映して

「純国産絹マーク」の普及推進を図るためには、小売店の皆さんの理解と協力が必要で、より一層のPR活動を求めたいと考える。

特に、マークの内容の理解で、川上、川中、 川下と行くに従って、マークに対する意識 が希薄になっていくのではないか。消費者 の声に一番近い「小売店」の協力が必要と 考える。

機屋の段階では、商品の品質表示に気を使うが、染め、織りに進むに従って、表示意識も薄れる傾向にあると思う。「仮絵羽」などにみられるが、国産絹マークが、袖の中に申し訳程度につけられていた場合もみられた。今後は最終商品のトレーサビリティを表示し、消費者に分かるよう表示するような指導等が必要でないかと思っている。

私は、蚕糸絹業提携システムの一員として、純国産絹織物の生産にタッチしているが、蚕種・繭から絹織物までそれぞれの段階の関係者が「純国産の意識」をもって商品化に携わっている。

今、「和の時代」といわれ、「きもの」「和 菓子」などもてはやされているが、着実に きものの普及と消費者に喜ばれる商品提供 をしていく義務が関係者に課せられている と思っている。今後とも、絹織物産地等に もご支援よろしくお願いいたしたい。

提携支援センターから

当提携支援センターが本年3月31日に承認した提携グループ「白繭紬1号プロジェクトチーム」の事業は、現在、順調に展開しているとのことで、今回、主要関係者にインタビュー取材を行い、その活動状況を語っていただきました。

創業 335 年の三越、日本の伝統文化を守り育てて、 純国産絹織物「白無垢」を販売

株式会社 三越 百貨店事業本部 MD 統括部 呉服部

本年、三越は、前身の呉服店「越後屋」 の創業から 335 年目を迎えます。

9月に、純国産絹織物「白無垢」を発表 しましたが、マスコミの取材も多く、お客 様の評判も上々です。

三越は、「伝統工芸展」の開催等を通じて、「日本の伝統文化を育む」ことを重視してきました。純国産絹織物の生産に参加することは、お客様により良い絹織物の提供とともに、大きく減少する繭の生産基盤の確保の支援となればと考えたことによります。

関係者の英知を集め、製織した純国産絹織物

三越のオリジナルブランドとして「三煌」と命名した純国産絹織物は、蚕業技術研究所が育成した蚕品種「白繭細1号」繭を使用しています。この繭は、細繊度で良質であることが特徴です。

加えて、「三煌」商品製作・販売に向け、「養蚕・製糸・撚糸・製織」の一貫した関係者を集め、「白繭細1号プロジェクト開発チーム」を結成し、それぞれの英知を集め、最高の生糸と商品つくりを始めました。

いままで積極的に、川上と川下の人が一 堂に会して意見交換を行うことがありませ んでした。三越として、今回のプロジェク トチームの一員として、初めて養蚕農家な



インタビューの写真 (呉服部ゼネラルマネージャ田口さん(左) と前呉服部長大石さん(右))

どの皆さんとお会いしました。JA上伊那の農家(唐沢さん)や養蚕農家を指導される農協担当者の皆さん(中原さん、倉沢さん)からの話は大変新鮮なもので、養蚕の大変さが理解できました。唐沢さんは、従来飼育してきた蚕とは性状が異なり、「初めて飼育する白繭細1号の特性を把握するまで」上蔟時期の判断が難しく、蚕座の中で繭を作る状況などもあったようです。

また、この繭による生糸の製造について も、座繰り生糸と自動繰糸生糸に別け、繊 度を変えた12種類を試験的につくり、そ れぞれの特性を判断・選抜し、三越ブラン ド「三煌」に合った生糸を作り上げました。 なお、「三煌」は、三越の特選呉服販売 会「三煌会」からのネーミングとなってい ます。より良い呉服をご提供するため、こ れを採用しました。



白無垢

現在、商品を製作し販売に至っていますが、三煌の良さがよくわかるようにと、あえて、「白無垢、白生地、裏地、半衿」としました。

お客様に喜ばれる「三煌」商品が出来上がりました。蚕種から製織まで高度な技術を駆使した商品です。

販売好調な「三煌」ブランド商品

ここまでに至る段階では、いくつかの課 題もありました。

当然のこと、自然条件、気象条件の変動により「優良な繭の生産」が安定的に確保できる保証はありません。まだ幸せなことに、凍霜害などが発生せず、農家の努力により事なきを得ています。農家の皆様との連携を強め、安定的に繭・生糸を確保するよう努めたいと思っています。

また、純国産生糸使用の場合、外国生糸に比べ大幅にコストアップになります。これについては、前述の通り、高度な技術を駆使し、最高の商品の製作をすることで、お客様に喜ばれる商品の提供を優先することにより、売り上げの安定化につながり、コストの低減になっていくと考えます。

このような課題を抱えますが、チーム関係者一丸となって課題解決に向け、今後も努力していきたいと決意を新たにしています。

呉服業界は厳しい状況に置かれています。売り場の動向を見ても苦戦が続いており、特選呉服も同様な傾向になってきてい

ます。

しかしながら、9月に店頭展開を始めた「三煌」ブランドの別染め色無地は、好調に推移しています。純国産絹織物の「生産履歴」がお客様に受け入れられたものと思います。蚕糸関係者に加え、お客様販売まで関係者のお互いのコミュニケーション、情報の共有により、日本の技術の最高水準の商品提供が実現できつつある結果といえます。

「伝統文化」の伝承に向けて

今回、開発チームを作り、参加された方々 と幾度となく意見交換をしてきました。

当初は、お互いに初めてお会いすること もあり、遠慮もありましたが、次第に本音 で話し合うことにより「三越に対する信頼 を得ることができた」と思っております。 また、「唐沢さんの蚕の飼育に対する熱い 気持ちが伝わり、みんなで素晴らしい純国 産絹織物を作っていこう」という気概がで てきました。

これが、現在の商品の評価につながり、 お客様の喜びの声につながっているものと 思います。

養蚕農家の高齢化が言われているようですが、呉服業界も高齢化し、呉服に関する技術の継承に危機感を抱いております。蚕種から絹織物までの一貫した「協働」体制を継続し、今後も、品質とお客様の声を商品に生かしていくことにこだわり、最高峰の商品の提供をしていくことが使命と認識しております。

今後とも、関係機関の御指導をお願い するとともに、蚕糸関係者の設備投資等に 対する支援などお願いたしたいと考えてお ります。

支援センター活動日誌No.3 (H20.9.1 ~ H20.10.31)

年月日	活動内容等
20.9.5	蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業に係る機械・機材の整備事業等の打合せ (群馬県安中市及び高崎市)
20.9.12	(社)日本絹業協会による純国産絹マーク審査委員会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
20.9.19	(社)日本絹業協会による純国産絹マークの使用許諾(15件)
20.10.2	平成 20 年度第 3 回蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業コーディネーターの登録(2 名)
20.10.3 ~	蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業説明会等
20.10.4	(長野県松本市及び下諏訪町)
20.10.8 ~	蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業に係る副蚕糸の利用促進のための玉繭・玉糸の生産・流通調査
20.10.10	(石川県白山市及び福井県大野市)
20.10.20	平成 20 年度第 4 回蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業コーディネーターの登録(1 名)
20.10.23 ~	「シルク・サミット 2008 in ふくしま」において蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業のワークショッ
20.10.24	プを開設(福島県農業総合センター)
20.10.31	(社)日本絹業協会による純国産絹マーク審査委員会 (東京都有楽町 蚕糸会館)



牛首紬に使われる玉糸の座繰り風景(白山工房にて)



石川県無形文化財の牛首紬製品 (大門屋提供)

純国産絹マーク使用許諾について(平成20年度第2次分)

社団法人日本絹業協会

社団法人日本絹業協会は、「純国産絹マーク」第2回審査会を去る9月12日開催し、平成20年度第2次分の純国産絹マークの使用許諾者(16社 うち、1社は生産履歴の追加許諾です。)を決定しました。

今回の申請は、16社(うち、1社は生産履歴の追加申請です。)からの申請があり、審査委員会で審査した結果、下記の通り純国産絹マークの使用許諾する旨の通知を行いました。

この純国産絹マーク使用許諾の審査会は、7月4日の第1回開催(第1次許諾者は13社 ただし、追加分2社を含む。)に次ぐもので、この結果、本年度の純国産絹マーク使用許諾者は、合計28社となります。なお、平成20年度第1次分の使用許諾者は、『シルクレポートNo.2』p4~5をご覧ください。

記

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (提携養蚕農家・企業等)
門倉メリヤス株式会社 代表者名 門倉重行 群馬県前橋市日吉町 2-4-16 (担当者) 門倉重行 Ta. 027-231-6586 表示者登録番号 0 1 4	洋装品 紳士靴下 ジャケット セーター カーディガン パンツ スカート 帽子	1,400 足 20 枚 30 枚 30 枚 10 枚 10 枚 6個	繭生産 前橋市、渋川市養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 染 色 (有) マユズミ 製 編 自社
株式会社結華 代表者名 橋本順一 静岡県駿東郡清水町長沢 202-1 (担当者) 橋本順一 TEL 055-981-3587 表示者登録番号 0 1 5	後染反物(色無地)	30 反	繭生産 茨城県南地区養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 三共織物(株) 染色加工 小林染工房、(株)菱健 制作企画(株)丸上 意 匠 自社
有限会社絹回廊 代表者名 糸井敬之 東京都中央区蛎殻町 2-14-2 (担当者) 糸井敬之 Tel 03-5643-1063 表示者登録番号 0 1 6	後染反物(色無地)	30 反	繭生産 茨城県南地区養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 三共織物 (株) 染色加工 小林染工房、(株) 菱健 制作企画 (株) 丸上 意 匠 自社

	T		T
純国産絹マーク使用許諾企業名	表示対象	表示対象	生産履歴の内容
(表示責任者名)	製品名	数量	(提携養蚕農家・企業等)
有限会社琴路屋 代表者名 北山充伯 岩手県釜石市只越町 3-4-7 (担当者) 北山充伯 TEL 0193-22-1647 表示者登録番号 0 1 7	後染反物(色無地)	30 反	繭生産 茨城県南地区養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 三共織物(株) 染色加工 小林染工房、(株)菱健 制作企画(株)丸上 意 匠 自社
有限会社大善屋呉服店 代表者名 畑 恒夫 福島県会津若松市大町 1-1-53 (担当者) 畑 恒夫 TEL 0242-27-0404 表示者登録番号 0 1 8	後染反物 (色無地)	30 反	繭生産 茨城県南地区養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 三共織物(株) 染 色 小林染工房又は(株)菱健 制作企画 (株)丸上 意 匠 自社
丸善本店 代表者名 櫛田幸造 福島県いわき市内郷高坂町 1-59-8 (担当者) 櫛田幸造 TEL 0246-26-2968 表示者登録番号 0 1 9	後染反物 (色無地)	30 反	繭生産 茨城県南地区養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 三共織物(株) 染 色 小林染工房又は(株)菱健 制作企画 (株)丸上 意 匠 自社
呉服のささき 代表者名 佐々木孝一 山形県天童市老野森 3 丁目 11-6 (担当者) 佐々木孝一 Tal 0236-53-2947 表示者登録番号 0 2 0	後染反物 (色無地)	30 反	繭生産 茨城県南地区養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 三共織物㈱ 染 色 小林染工房又は(株)菱健 制作企画 (株)丸上 意 匠 自社
網小沢株式会社 代表者名 小林幸夫 群馬県高崎市問屋町 3-5-3 (担当者) 土井芳文 Tel 027-361-2311 表示者登録番号 0 2 1	白生地	620 枚 16900 枚 100 枚 1000 枚 100 枚 90 枚	企 画 日本蚕糸絹業開発(協) 蚕品種 世紀二一、ぐんま 200、新小石丸、 ぐんま黄金、上州絹星 繭生産 安中市、富岡市など群馬県内 養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 (株)カブト、江原産業(株)、 丸進機業(株)、(株)ワタマサ、 山直織物(株)、坪金工業(株)、 南久ちりめん(株) 精練加工(有)江島屋染工場、浜縮緬 工業(協) 染加工 吉岡染工、(株)京都紋付 加 エ キヌテック(株)、 (株)パールトン

			I
純国産絹マーク使用許諾企業名	表示対象	表示対象	生産履歴の内容
(表示責任者名)	製品名	数量	(提携養蚕農家・企業等)
宮階織物株式会社			企 画 (株) 深田商店
代表者名 宮階有二	先染反物	100 反	繭生産 JAたむら、JAすかがわ
京都市上京区笹屋町通六軒町西			岩瀬管内養蚕農家
入笹屋五丁目 311			製糸松岡(株)
(担当者) 宮階有二	後染反物	100 反	製織自社
Tel 075-462-3030			染色、北川半染工場、(有)長坂
表示者登録番号 022			
· 我们有豆螺曲与 0 Z Z			
21世紀の絹を考える会			蚕品種 錦秋×鐘和
代表者名 石田克己	後染反物	100 反	繭生産 JA甘楽富岡管内養蚕農家
京都府城陽市寺田桶尻 12-3			製糸碓氷製糸農協
(担当者)石田克己	带	75-6	製織羽賀恒明、佐竹孝機業店、
Tel 0774-52-2218	(草木染袋帯) 	75 本	山口織物(株)
表示者登録番号 023	 (唐織袋帯)	150 本	染 色 奥谷染色、寺川染工場、 トキワ商事
1277日豆螺田勺 0 2 3	(石帆投下)	150 4	「コン同事
碓氷製糸農業協同組合			蚕品種 春嶺×鐘月
代表者名 髙村育也	白生地	50 反	繭生産 JA碓氷安中管内養蚕農家
群馬県安中市松井田町新堀甲 909			製糸自農協
(担当者) 髙村育也			製織丸幸織物(有)
Tel 027-393-1011			販 売 自農協
 表示者登録番号 024			
1277日豆螺田勺 0 2 平			
丸幸織物有限会社			蚕品種 春嶺×鐘月
代表者名 谷口惣一郎	白生地	50 反	繭生産 JA碓氷安中管内養蚕農家
京都府京丹後市網野町小浜 426			製糸碓氷製糸農協
(担当者)谷口惣一郎			製織自社
Tel 0772-72-0505			
 表示者登録番号 025			
織匠万勝	+++ 1,1.	250 -	企画(株)やびや
一代表者名 前田 章	帯地 	250 本	繭生産の伊勢崎市養蚕農家
京都市中京区姉小路通堀川東入る 鍛治町 173-1	 先染着尺	150 反	製 糸 碓氷製糸農協 製 織 自社
(担当者)前田 章) JJ/N'11 / (130 /	染 色 濱口染工場、北仲屋
TEL 075-257-5747	後染着尺	200 反	
表示者登録番号 026			
 有限会社織道楽塩野屋			│ │ 蚕品種 都浅黄、黄白
代表者名 服部芳和	マフラー、シャ	120 枚	繭生産 福知山市養蚕農家
京都市上京区千本通一条下ル	ツ		製 糸 宮坂製糸所
西側西中筋町13番地			製織杉本成史
(担当者) 服部芳和	ニット		染 色 自社、大本染工、小島
Tel 075-461-1995	ウォーマー、	700 枚	染工場、大塚藍工房
 表示者登録番号 027	腹巻手袋、 靴下		製編ニットウィン
1X小百豆虾田勺 UZ/	+16 1 °		
	l .	<u> </u>	

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (提携養蚕農家・企業等)
株式会社丸万中尾 代表者名 中尾禧夫 滋賀県長浜市室町180番地 (担当者)中尾禧夫 TEL 0749-62-1660 表示者登録番号 028	後染反物	300 反	蚕品種 春嶺×鐘月、ぐんま 200 繭生産 JA碓氷安中、JAみなみ信州 管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 小林商店、南久ちりめん(株) 染 色 (株) 一会、市田(株)、柏田屋(株)
株式会社 千總 代表者名 西村總左衛門 京都市中京区三条通烏丸西入る (担当者:俵 武司) Tel 075-211-2531 表示者登録番号 001 (生産履歴の追加)	後染反物 (訪問着、 付下) (色無地)	1200 枚 240 反	繭生産 岩手県北部・中部・南部 養蚕農家、 青森県八戸市養蚕農家 製 糸 松岡(株) 製 織 加賀グンゼ(株) 染 色 自社

⁽注) 当協会では引き続き同マークの使用申請を受付中であり、第3回目の純国産絹マーク審査委員会は平成20年10月 31日(金)に開催いたしました。

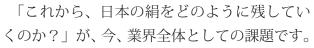
コーディネーター活動の紹介(1)

情報開示と連携が重要

- コーディネート活動とその実績-

株式会社 マルシバ

代表取締役社長 木下幸太郎



私は、「純国産絹織物の生産量は少なく、その希少性を訴えることも重要であると思うが、『中国、ブラジルに勝る養蚕・製糸・製織の各技術』を駆使した絹織物が、世界に誇り得るものとなり、残っていくもの」と考えます。

当然のことながら、「量から質への意識改革」 は行っていかなければなりません。

当社は、蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業のスタートとともに、「プラチナボーイ」、「白繭細1号」と財団法人大日本蚕糸会蚕業技術研究所育成蚕品種を活用した「提携システム」に参加してきました。蚕種・繭・生糸から絹織物までの一貫したグループ形成を行うためには、グループの連携した力を合わせることも大切ですが、「ビジネスとして成功するためのコーディネーター」の仕事が重要と感じています。

消費者に喜んでいただける「純国産絹織物」を提供するためには、前述の通り、関係者が一致して「良い製品つくり」が最低必要条件となります。繭や生糸の段階でよいものができないと絹織物は決して良いものができないからです。提携システム関係者の忌憚のない意見交換を通じて、「ものつくり」をしてきました。絹織物の作家の皆様や消費者からは、「今までに



ない最良の生糸・絹織物」と評価も受けてきま した。

このように、一貫した「ものつくり」を始め た当時、最大の課題は、「養蚕農家の皆さんと の接点」をどのように作り上げるかでした。

絹織物問屋は製糸以前の「養蚕の現場」との 交流はなく、いわゆる川上と川下の間には接点 がありませんでした。

養蚕農家-JA-全農県本部等-全農全国本部と繭の生産・販売体制は確立していますが、当初、どこに行って相談すればいいのかわかりませんでしたが、財団法人大日本蚕糸会からの指導もあり、全農との協議を始めました。しかしながら、いくつかの繭生産産地に出向き、話し合いを実施すると産地ごと対応が異なるなど戸惑いもありました。

それらの経験を踏まえ、コーディネート活動 に関し、いくつかの課題等を記したいと思いま す。

コーディネーター活動の課題等

第一に、「川上等の情報をオープンに」して いただきたいと思います。

今では、どこに繭産地があるのか、全農の協力を得ることができますが、これに加え、どの

ような農家があるか、どのような蚕品種の飼育が可能かなど、産地や生糸等多くの情報の提供をいただきたいと考えます。これに加えて、技術の向上対策を徹底していただくことが大切と考えます。養蚕農家の皆さんは、繭生産に関し、経験則を活かして蚕飼育を行われていますが、今後は「特徴ある蚕品種」の飼育などが求められてきます。JA等養蚕農家の指導者の皆さんともども新しい蚕品種であっても「優良繭生産」体制をお願いいたしたいと思います。

第二には、「自然との闘い」を念頭に置くべきと考えます。繭の生産は、気象に左右されます。

繭・生糸の量、質ともに最初に計画通りに確保できるとは限らないものと思います。農家の皆さんと連携して、気象災害等に対抗し得る養蚕技術の確立とともに、優良繭の確保をしていく必要があると考えます。

第三には、「提携システム」や「コーディネート活動」等助成事業としてその内容を理解することが重要と考えます。当初は、絹織物問屋に働くものとして「生糸や絹織物の相場」の内容や状況は分かっていても、「助成事業」の経験もなく、助成システムを理解しなければ、事業の確立もできないことも知りました。

今後、蚕糸・絹業提携支援センターの皆さんには、助成事業として円滑に推進できるよう、川上の情報開示を徹底して、より一層の御支援もいただきたいと思います。

「純国産絹織物」のプロデュースに向けて

コーディネート活動の目標は、「純国産絹織物」の作出と消費者への普及活動、そしてグループ関係者間の調整役が主な役割と考えます。

特に、純国産絹織物を作るためには、関係者の協力がなければなりません。良い国産繭、良い国産生糸から「素晴らしい純国産絹織物」ができるのです。

今、呉服業界は、大変厳しい状況に置かれています。加えて、昨今の金融の世界的不安定感から「不景気」な状況となってきているといわれています。絹織物生産地では、「出機化」してきており、休業の日もあり、生産量が減少し、在庫投資を行わなくなってきている状況にあります。

このような状況のもと、消費者にアッピール するためには、消費者に安心して商品提供する ことが大切です。良い商品は確実に販売できて おります。

意見交換とグループ育成に向けて

最後に、今まで、一貫した流通経路の確保を 図りながら、どのように消費者の皆様の信頼に 応えられる「純国産絹織物」を作っていくこと ができるかと模索してきました。

結論的には、「足で稼ぐ」行動、つまり、養蚕現場で養蚕農家と対話し、製糸工場では、「求める生糸」の議論を行い、「機場」では、率直な生糸の評価を聞くことに努めてきました。

これらの意見を再度、それぞれの現場にフィードバックし、より良い商品つくりを行ってきました。

「希少性、クオリティ」がコーディネート活動のキーワードとなると考えます。これからも提携システムの確立に向け、グループ育成に努めていきたいと考えています。関係者のご理解とご支援お願いいたします。

今月の話題

「付加価値の高い蚕糸業」を目指した取り組みと今後の課題

群馬県蚕糸園芸課

絹主監 狩野寿作

はじめに

群馬県では、将来にわたり群馬県蚕糸業を安定的に振興するため、平成6年度に馬県蚕糸業振興緊急対策委員会を設置し、付加価値の高い蚕糸業の振興方策を取りまとめた。

提言の骨子は次のとおりである。『本県蚕糸業振興の基本は、技術革新による生産コストの大幅な低減を図り、繭生産量を確保すると共に、外国産繭・生糸の追随を許さない、高品質繭・生糸の生産におき、原料生産者から絹織物業者、流通業者まで連携したオリジナルシルクの生産体制を確立し、付加価値の高い「群馬の絹」のブランド化を確立することとする。また、異業種間交流を活発に行い、新しい分野における桑、蚕、絹の需要拡大を追求する。』私たちは、この提言にもとづき各種施策を進めてきたが、養蚕農家も繭生産量も年々減少しており、蚕糸業が存続できるかどうかの瀬戸際に立たされている。そこで、これまでの代表的な取り組みを紹介し、群馬県蚕糸業を維持・存続させるための今後の課題について検討

1 群馬県蚕糸業の現状

してみたい。

(1) 養蚕農家、繭生産量等の推移

	H 7	H10	H15	H16	H17	H18	H19	戦後のピ-ク
養蚕農家数(戸)	4,730	1,930	838	741	650	557	471	84,470
繭生産量(トン)	2,061	839	350	296	278	225	186	27,440
器械製糸(工場)	4	3	2	1	1	1	1	32

(2)養蚕農家の動向(H17調査)

- ○養蚕従事者の平均年令は68.7歳(最高年齢者90歳、最低年齢者26歳)
- 70 歳以上が 56% を占め、高齢化が進展(60 代以下は 45%)
- ○今後5年間の動向 休止17%、縮小21%、現状維持62%

(3) 繭代金の推移

	S50	S51	H1	H10	H15	H18	H19
繭代金(円 /kg)	1,710	1,922	2,597	1,598	1,828	1,879	1,959
繭生産費(円 /kg)	1,683	2,244	3,426	3,600	3,600	3,600	3,600

[※] H9 年度で繭生産費調査が終了したため、H10 以降は H9 の繭生産費を使用

近年の群馬県蚕糸業は、再生産が可能な繭代金を確保できないため、養蚕後継者は育たず、 毎年15%程度養蚕戸数、繭生産量の減少が続いている。

「付加価値の高い蚕糸業」確立のための取り組み 2

(1) 群馬オリジナル蚕品種の育成と普及状況

【表1 群馬オリジナル蚕品種の特徴】

蚕品種名	育成年	特 徴
世紀二一	Н3	県蚕糸技術センターが 13 ヶ年をかけ育成した四元交雑種。繭糸は細く長い。染色性の良さは、江戸 小紋師藍田正雄氏により立証された。
ぐんま 200	H5	虫質強健で、繭糸がほぐれやすく、生糸量の多い品種。生繭繰糸に適し、出来た生糸は節が少な く極めて白い。
新小石丸	Н8	皇居御養蚕所で飼育している蚕品種「小石丸」と「二一」を交配した三元交雑種。節が少なく繊度ムラの少ない生糸が生産される。
ぐんま黄金	H10	繭糸は細く、ほぐれも良好。この繭からは光沢のある黄金色の生糸が生産される。
新青白	H10	文政年間に群馬県藤岡市周辺で育成された「青白」を改良した品種。この繭からはフラボノイド を多く含む薄緑色の生糸が生産される。
蚕太	H12	日日交雑種のため繭は小振りで、生糸量はやや少なめ。繭糸繊度が 4 デ ニール以上のためニット製品の素材として注目されている。
上州絹星	H18	日本純粋種「又昔」を改良した品種。この繭からは、強度・伸度に優れた生糸が生産され、織物は摩擦に強く、染色性に優れている。

【表2 群馬オリジナル蚕品種の年次別普及状況】

		H5	H8	H10	H12	H14	H16	H18	H20
オリジナル蚕品種	掃立箱数(箱)	108	1,217	2,488	2,452	2,366	2,229	1,936	1,500
オリジナル蚕品種	普及率(%)	0.2	5.7	15.0	23.5	30.5	37.5	44.5	46.4

「群馬の絹」のブランド化を推進する上で、新製品の開発は最重要課題である。そのため

には、外国産とは差別化された高品質繭・生糸を 生産する必要がある。

そんな観点から育成された群馬オリジナル蚕品 種は、表1のような特徴を持ち、その生糸品質につ いては、染色性の良さなどが作家・工芸家や機屋に 高く評価されている。

群馬オリジナル蚕品種の普及状況については表 2のとおりであり、普及率は伸びているが掃き立 て箱数については低下傾向にある。これは、生糸 需要の動向を見極めつつ、最高品質の生糸生産の



写真1 「世紀二一」の繭と生糸

ため、飼育蚕期、飼育産地にこだわった結果である。

(2)「ぐんまシルク」認定制度について

「ぐんまシルク」認定制度は、『群馬県ブランド奨励蚕品種の群馬県産繭のみを原料とした生糸・絹製品の生産・販売及びブランド化を促進し、本県蚕糸業の振興に寄与すること。』を目的とし、生糸については平成7年度から、絹製品については平成9年度から認定を行っている。

平成19年度末現在、認定品製造業者数は30業者、認定品目数は430品目となっている。

「ぐんまシルク」の審査基準は、製造工程が明らかで、高品質な絹製品であることはもとより、着尺、帯などの和装絹製品では、認定生糸のみを原料とした製品とし、洋装及び小物につ



写真 2 シルバーが生糸用 ゴールドが絹製品用

いては、絹の特性や風合いをより高めるための絹以外の素材については 50%以内で使用を認めている。

制度発足以降13年を経過した「ぐんまシルク」は、産地ブランドやメーカーブランド等と相まって、純国産絹製品としての付加価値を高めている。

(3)「日本絹の里」の設置

「日本絹の里」は、蚕糸業振興の拠点として、平成10年4月24日高崎市金古町に開館した。具体的には、常設展示では養蚕、製糸、織物の歴史や技術及び実物展示を行い、川上から川下までの関係者の学習の場として活用されている。企画展示は、蚕糸に関する技術や新素材・新製品を紹介し、技術交流の場として機能している。蚕や絹に対する消費者の理解を醸成



写真3 「日本絹の里」外観

するために、カイコの飼育、繭クラフト、染め、織りなどの体験学習を常時実施している。 関係者の努力が功を奏し、奇しくも蚕糸・絹業提携支援センターが設立した平成 20 年 2 月 29 日に、30 万人の入館者を迎えることができた。

なお、養蚕、製糸、絹業者連携による「付加価値の高い蚕糸業」を展開するためには、情 報発信は重要な業務である。今後、インターネット等を使って群馬の技術、新素材、新製品 の開発状況を紹介したり、専門家によるセミナーや蚕糸絹業者の交流会等を定期的に開催す る必要があると考える。

平成 18 年度から指定管理者制度が導入されたが、日本絹の里が蚕糸業振興の拠点として の設立の趣旨を損なうことなく、今後とも蚕糸業の持続的発展のため、「天の時 地の利 人の輪」を最大限活かした活動を期待するものである。

(4) 蚕糸絹業提携団体の設立

絹産業は、その工程が多岐にわたり複雑なた め、「繭や生糸生産の分からない絹業者」や「染 め織りの分からない養蚕農家、製糸業者」など、 川上と川下が分断されている状況にある。これ では蚕糸絹業の持続的発展は望めない。そこで、 県の呼びかけにより養蚕、製糸、絹業の代表者 が一堂に会し、喧喧諤諤の議論の末、平成12 年6月15日、付加価値の高い蚕糸絹業の展開 を目指した「群馬の絹」活性化研究会が組織さ れた。



写真4 平成19年度「群馬の絹展」

「群馬の絹」活性化研究会の活動としては、①養蚕、製糸、染織現場の視察研修 ②第一 線で活躍する専門化を招いての講演会 ③消費者、養蚕農家、製糸業者、染織業者、行政関 係者等を一堂に会しての交流会(毎年1月15日に開催) ④群馬オリジナル絹製品を展示、 即売する「群馬の絹」展などである。

8年間にわたる「群馬の絹」活性化研究会の活動は、蚕糸・絹業関係者の交流促進をはじめ、 群馬ブランド生糸の消費拡大や川上・川下提携グループの形成に大きな成果を上げることが 出来た。具体的には

- 活性化研究会の講演会、交流会では、染色性の良い「世紀二一」、生挽きに適し白度の 高い「ぐんま 200」等生糸の評価が発表されたり、品種によっては節が多く織りづらい等 のクレームも出された。これらによりブランド生糸の需要が拡大し、生糸品質の改善が行 われたのも、活性化研究会の大きな成果である。
- 平成 19 年度群馬県内で生産されるブランド生糸のうち、大半は県内絹業者、県内生糸 業者(問屋)に供給されている。
- 養蚕農家を構成員とする甘楽富岡蚕桑研究会は、自ら生産した「ぐんま 200」の繭を使

用し、碓氷製糸や県内加工業者との連携により、オリジナル絹製品の開発・販売を行い、 繭の付加価値を高めている。

○ 「群馬の絹」活性化研究会の活動をきっかけとして、8つの提携グループが立ち上がり、 うち3グループは大日本蚕糸会の「蚕糸・絹業提携システム確立対策事業」に取り組んで いる。

(5) 座繰り講習会の開催

江戸時代末期に群馬県で発明された「座繰り」と呼ばれる製糸法は、時代の変遷と共に器械製糸へと移り変わり、現在はほとんど行われていない。本県においては赤城南麓を中心に約30戸で座繰り生糸が生産されているが、生産者の高齢化により絶滅に近い状況となっている。

そこで、伝統ある「座繰り」製糸技術の保存と 継承及び「軽くしなやかでふくらみ」 のある生糸 開発のため、平成12年より「座繰り糸」技術者 養成講習会が開催された。



写真5 第9回座繰り講習

講習会の概要及び成果については次のとおりである。

- 講習会は、平成12年度~14年度までの3年間行われ、開催回数20回(1回の講習会は4日間)、修了者数は約200名である。
- 受講生のうち数名は、座繰り生糸を作って生計を立て、数名の作家は、座繰り生糸を使った染織活動を行っている。
- これらの活動がいろいろなメディア等で紹介され、染織関係者の座繰り生糸への関心が 高まったことを受け、平成 16 年 12 月に「座繰り糸による織りの公募展」が開催された。 大賞には東京都の関史子さんの着物「風の香り」が選ばれた。
- 平成19年からは群馬県蚕糸技術センターの主催で「絹へのふれあい体験学習講座」が 行われている。講座は養蚕体験コース(20日間)と座繰り体験コース(18日間)に分か れており、年2回開催されている。
- 平成19年度ふれあい体験の修了生のうち、1名は19年の晩秋蚕から蚕の飼育を始めており、1名は座繰り糸を使った薄絹のタペストリーを、ベルギーで行われた国際コンペに出展し、入選の栄に輝いた。
- 「座繰り糸」は、軽くふくらみのある生糸であり、上繭、玉繭、揚がり繭などのブレン ド割合により、生糸の表情が変わるので、作家や工芸家が使う生糸として最も適している。

今後、養蚕農家、座繰り製糸、作家・工芸家 の提携グループ形成を進める必要がある。

6) 蚕糸・絹業提携グループの形成

蚕糸絹業提携グループは、グループ構成員の並々ならぬ努力は勿論のこと、県や関係団体の支援がグループ形成に大きく寄与している。いくつかの事例を挙げると次のとおりである。

○ 前橋の門倉メリヤスは、サクサン糸を使い、シャリ感のあるシルクニットを作っていた。しかしサクサン糸を使った製品は、生糸独特のしっとり感と光沢が出なかった。



写真6 「蚕太」を使ったシルクニット製品

そこで、平成6年より国が育成した太繊度品種「さきがけ」、「ありあけ」の飼育と製品開発に取り組んだが、蚕が大型なため取扱が難しいこと、回転蔟に入らないこと等から、飼育の継続を断念せざるを得なかった。ここであきらめることなく、門倉社長は群馬県蚕業試験場に通い、農家で飼育できる太繊度蚕品種の育成を懇願した。こうして平成12年に生まれた品種が「蚕太」である。育成当初から「蚕太」を飼育している富沢氏は、「繭代を確保するためには、提携システムの構築しかない」との信念から、養蚕農家の組織化を進め、今日の「蚕太開発グループ」へと発展してきた。「蚕太」の繭は、普通繭の1.3倍以上の価格で取引されているが、飼育や上蔟作業の難しさから、飼育農家を確保するのが難しい状況にある。今後の課題としては、飼育技術の改善、繭単価の見直や、「蚕太」の特性を活かした商品の開発が必要であろう。

- 前橋の西尾呉服店は、日本の着物文化を支えている繭、生糸の生産が、国内からなくなりつつあることを嘆いている一人である。そこで、養蚕農家を支援しつつ、最高品質の生糸を作るべく、平成16年より養蚕農家と特約取引を開始した。西尾氏の言う最高の生糸とは「選除繭のない揃った繭(品種:ぐんま200)を農家に生産してもらい、低速繰糸による生挽きの21 デニール生糸」である。農家には特約取引分として200円を買い増しし、製糸には加工費を補償している。こうして作られた生糸は、「染色性がよく、繭・生糸生産地がはっきりしており、安心して使える。」として、全国の作家・工芸家から好評を博している。
- 川上・川下提携システムの主役は、養蚕農家、製糸業者、絹業者であるが、養蚕農家 を指導する蚕業普及員、飼育技術、繰糸技術の開発や新品種を育成する試験研究機関、養 蚕農家・製糸・絹業者とのマッチングやオリジナル製品開発を支援する国・県の存在を忘 れてはならないだろう。

3 今後の課題

群馬県は、平成7年以降「付加価値の高い蚕糸業」を展開すべく、各種事業に取り組んできた。また、平成20年から始まった蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業にも積極的に取り組んでいる。その経験を踏まえ、蚕糸業の持続的発展のための今後の課題について考えてみたい。

- (1)養蚕農家の維持確保のためには、再生産可能な繭代金の確保が絶対条件であるが、助成金が無くなると、繭代 2,500 円の場合生糸代は約 18,000 円となる。この価格で、品質も向上し価格も安い海外からの絹製品に対抗できるのだろうか。「金の切れ目が縁の切れ目」とならないよう国産繭・生糸・絹製品が生き残るための具体的なビジネスモデルの構築が求められている。
- (2) 高級衣料は、今後一層消費者の本物志向が強まることが予想される。さらに最終製品を手にするだけでなく、原料生産段階に参加することにも強い関心が寄せられている。そこで、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録推進運動と併せ、蚕糸業そのものを観光資源と捉え、「養蚕農家を活用した体験養蚕」や「製糸工場を活用した糸取り体験」などにより、都市との交流を活発に行い、養蚕地域の活性化を図ることが重要である。
- (3) 純国産絹製品の PR と消費拡大のためには、誰もが高級絹製品を楽しめる環境作りが重要である。そこで、純国産絹製品を気軽に楽しめるための商品開発と、「シルクに親しむ一人一品」運動を推進する必要がある。
- (4)養蚕農家と繭生産量を維持するためには、再生産可能な繭代金確保と共に、養蚕を取り入れた複合経営農家を育成する必要がある。

シルクレポート 2008.11 19

国内情報

「きびそ」を活用した「鶴岡シルクプロジェクト」立ち上がる

鶴岡織物工業組合 理事

鶴岡シルクプロジェクトリーダー 大和 匡輔

鶴岡シルクプロジェクトは、「製糸工程 において産出されるキビソを活用した新素 材開発及び、国内唯一の地域内一貫生産に よる高付加価値型シルク製品の開発」とい うテーマで、本年4月より経済産業省の地 域資源活用新事業展開支援の認定を受ける タートした。

鶴岡絹織物産地は明治時代から庄内藩士 3.000 名が刀を鍬に変え、開墾し桑の木を 植えた事から始まった。やがて養蚕から蚕 種、製糸、機織、精練、染色、仕上げ、縫 製工場が出来、染色学校や縫製学校などを 備えた今で言う産業クラスターが形成され た一大産業(鶴岡市の就業人口の半分以上 を占める)となる。しかし戦後様々な要因 により衰退し続けることになるが、現在で も養蚕から製糸・機織・精練・染色プリント・ 縫製と絹製品を生産している。全ての工程 が揃っているのは日本の中では鶴岡だけに なり、しかも日本の絹織物産地の北限とし て注目を浴びている。このようなフルセッ ト、ウエルバランスあるいは地域内一貫生 産の特徴を最大限に活用し新たなモノづく りを行うことにより鶴岡シルクを中核とし た鶴岡ブランドを確立し世界市場を開拓す る(下請けではなく、自らが価値を創造し、

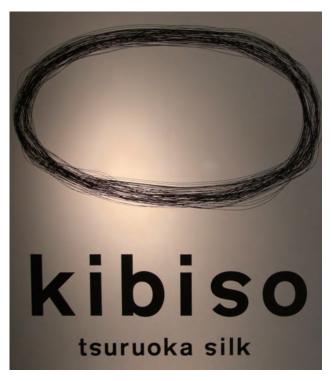
世界に発信する)そして地域経済の活性化 を図ることが今回の目的である。

岡田茂樹氏(前東京ファッションデザイ ナー協議会(CFD)議長)を総合企画プ ロデューサーに、また世界的テキスタイル デザイナーの須藤玲子氏を企画デザインコ ンセプターとして迎え、企画から販売まで のアドバイスを受けながら製品開発を進め る事となった。まず初めに鶴岡シルク産地 の様々なシーズの中から彼らが注目したの は「蚕が繭を作る際に最初に吐き出す糸」 である「きびそ」であった。

製糸工程から産出される副産物である 「きびそ」は一般的に考える光沢のあるシ ルクのイメージとは全くかけ離れた粗野で 独特の風合いを持つ代物であったが、そこ に新規性とオンリーワンとなれる様々な可



キビソ(右側は精錬したもの)



PR 用 Kibiso マーク

能性を見出したわけである。「きびそ」は 5,000 デニールというとても織機にはかからない太さであるため、手機でしか織ることができなかったが、松岡(株)では 500 デニールの糸にする技術を開発することに成功、様々なテキスタイルに応用する事が可能となった。これによって須藤氏のアドバイスを受け様々な商品開発が始まりキビソをフラッグシップとした「鶴岡シルク」のブランド化に向けた取り組みが本格的にスタートした。

その他に大正紡績(株)とのコラボレーションによるオーガニックコットンと「きびそ」の混紡糸を開発。オーガニックコットン70%「きびそ」30%の混紡糸は今までに無い独特な風合いをもち、今後ニット製品やパイル地など多方面への可能性も膨らんでいる。

これらの新製品を世界にアピールするために、「きびそ」を「kibiso」で商標登録の取得をし「鶴岡シルク」もまた同様に申請中である。さらにキビソは絹でありながら、これまでの絹とは違った風合いの素材である。この素材の特徴を表現し、効果的にPRするためのロゴデザインをグラフィックデザイナーの佐野研二郎氏にお願いした。出来上がったマークは一目でキビソとわかる素晴らしいものとなり、パンフレット・ポスター・タグ・パッケージなど統一した「鶴岡シルク」のブランドシンボルとした。

この他に7月には岡田氏より紹介していただいた新進気鋭の若手ファッションデザイナー4組8名「シアタープロダクツ」「ソマルタ」「まとふ」「ミントデザインズ」を鶴岡に招いた。その際、絹が出来上がるまでの全ての工程を見て触って感じてもらう事と作り手側と使い手側のコミュニケーションを図ることによりニーズにあった更なる製品作りを進めていった。その結果9月のJFWコレクションや展示会に「きびそ」を使っていただいたり、今後の素材開発の良いアドバイスをいただいている。また8月には鶴岡市の協力を得て、東京造形大学大学院生12名と文化ファッション大学院



学生の鶴岡シルク聴講風景



これまでの研究成果を発表した展示会

大学生 25 名が鶴岡に合宿し「鶴岡シルク」 ブランド構築のための産学交流も始まっ た。これについては今後毎年行う予定であ る。これらの取り組みは、「きびそ」イコ ール鶴岡というブランドを官民一体となっ て作り上げていく中で、様々な人に絹の産 地鶴岡を認知してもらう事が可能となり、 さらに足を運んでいただくことにより作り 手側と使い手側の親密で良好な関係を築く 事ができるものである。

4月よりスタートしたプロジェクトはものすごいスピードで進行しており、10月6日~7日に東京表参道「Rin」にて「鶴岡きびそ展」と銘打ち展示会を開催した。



キビソで作られたシルクスーツとタペストリー



反響を呼んだ青山展示会

2日間でオピニオンリーダー、デザイナー、 バイヤー、マスコミ各社 500 名の来客が あり、世界に向けての第一歩を踏み出した。

今後は、衣類だけでなく、絨毯、壁紙、タペストリー等インテリア素材やバッグ小物など雑貨などでも積極的に展開し、世界で通用する「kibiso」ブランドを定着させていく事が目標である。

※きびそ「kibiso」(silk waste in gropping end)

繰糸工程において、1本の正しい糸口を見つけるため煮熟した繭の表面をブラシ等で擦った際、絹糸がもつれた状態でほぐれてくる副産物の一種、繰糸の際、繭から糸口を見出すためにすぐりとった緒糸を乾燥したもの。



バッグ小物類の数々

トピックス

国内産地情報

絹織物産地の概況 (9月)

経済の先行き不透明感から絹業界も厳しさを増している

<原糸>

輸入原料は中国生糸の上値指向から一転落着きムードに変わり、価格は安定しているものの、織物の動きが鈍いことから生産調整の継続で、原料手当は消極的で在庫の消化が主流であり、不足分を当用買で補うところが大半であった。

<白生地>

- ・丹後の生産は、前年同月比80%で、無地74%、紋生地81%となっており、これは大手の事業再編に伴う商品の逆流現象から仕入抑制となっている事に起因している。
- ・長浜の生産は、前年同月比89%となった。これは呉服小売店の倒産から前売筋の苦戦が続き集散地の対応が慎重であるためである。
- ・ 五泉は、生産量は前年同月比反数換算で 4%の減産と健闘している。
- ・福島は、和装、スカーフ共に受注が減少、一部企業においては品種により増産があったが 全体的にまだまだ厳しい。
- •福井は、広幅羽二重は指定品のみ受注生産、小幅羽二重は輸入品との価格競争でさらに悪化。
- ・岐阜は、織物売行きは少量ですぐ送れの注文であるため、たえず在庫した状況を維持している。
- ・群馬・埼玉は、和装は全般的に商況が悪く、秋の需要期を迎えても動きは悪い。埼玉では 実需期に対し見込み増産している。

<先染織物>

- ・西陣の帯は、実需期に入っても不振を極めている。小売店等の在庫の見切り、返品玉が逆流しており従来の商いを妨げている。
- ・博多は、紋系においては、佐賀錦の増が見受けられるが、袋帯は減産、平地系は男帯は 20%の減産。
- ・十日町は、全体的には落着いて来ている。訪問着、紬絣が伸びている。
- ・米沢は、服地は小口の注文で推移している。呉服は減産状況。
- ・山梨は、ネクタイは小売りで売れていない。服地も少し陰りが出て落ちてきている。
- ・西陣のネクタイは、全体的に低調で、大手に寡占化しての受注であるが発注は遅れて、追加注文も見込み薄である。
 - *(社)日本生糸問屋協会月報20.10.14第713号による。

海外シルク情報

中国

最新中国各産地の繭・生糸の現物価格動向

本年9月1日現在における中国各産地での繭と生糸の現物価格の動向について紹介する。

1. 広西自治区

現在の産地の乾繭在庫は、減少傾向にある。南部地区では現在、秋蚕産生繭の売買取引が小規模に開始されており、その現物価格は $14\sim16$ 元/kg($224\sim256$ 円/kg)前後である。自治区南部及び西北部の乾繭価格は、前者は $45\sim46$ 元/kg($720\sim736$ 円/kg)後者は $48\sim50$ 元/kg($768\sim800$ 円/kg)の範囲内でおのおの取引されている。この価格差は、繭品質の差に起因している。生糸価格は、工場検査もので $188\sim190$ 元/kg($3,008\sim3,040$ 円/kg)前後で平穏に推移している。

2. 広東省

現在の乾繭の現物価格は、42元/kg(672円/kg)前後を維持している。春繭の現物流通量は少なくなり、現在、最終出回り時期になっている。生糸の工場検査ものの製糸工場の販売価格は、188元/kg(3,008円/kg)前後で取引されている。

3. 重慶特別市

夏蚕乾繭の平均解じょ率は、52%程度であり、乾繭の現物価格は 44 元 /kg(704 円 /kg)前後となっている。既に広西産地では秋繭の売買が開始されており、かって広西から原料繭を手当てした省内製糸の大部分は、様子見の姿勢であり、特に目立つ動きは見えない。一方、生糸の現物価格は $186\sim190$ 元 /kg($2,976\sim3,040$ 円 /kg)の範囲内にあり、品質の差により価格が上下し、平均価格は 188 元 /kg(3,008 円 /kg)である。

4. 四川省

現在の省内の乾繭現物流通量は極めて少なくなり、春蚕乾繭の価格は $46 \sim 47$ 元 /kg (736 ~ 752 円 /kg) 前後である。夏蚕の乾繭の解じょ率と生糸量歩合は低く、そのためその価格は 40 元 /kg (640 円 /kg) 前後となっている。生糸の価格は、公立商品検験局検査もので買い手側の買取価格として約 190 元 /kg (3,040 円 /kg) 程度と報告されており、現在、この価格での輸出量はそれほど多いものとなっていない。

5. 江蘇省

乾繭の現物価格は、 $58\sim61$ 元 /kg($928\sim976$ 円 /kg)で推移し、ここしばらくの間変わらず、解じよ率は $60\sim70\%$ となっている。別途、生糸の現物価格は189.50 元 /kg(3,032 円 /kg)で取引されている。

6. 山東省

乾繭の現物価格は、57 \sim 60 元 /kg(912 \sim 960 円 /kg)の範囲内で取引され、また生糸の製糸工場の販売価格は、190 元 /kg(3,040 円 /kg)前後となっている。

7. 浙江省

現況、業界の動向は平穏に推移しており、大部分の製糸工場の繭在庫は既に減少気味であるが、一方、繭集荷場の在庫は多いがその内容は良品質(上繭)ではなく、解じょ率 50%以下の下繭である。平均的な乾繭の現物価格は、60元/kg(960円/kg)程度で取引されて

いる。工場検査の生糸の現物価格は、190 ~ 192 元 /kg(3,040 ~ 3,072 円 /kg)の範囲で売買されている。

陰りが見え始めている最新の中国シルク輸出事情

中国通関統計によれば、本年 $1 \sim 7$ 月累計の中国シルク商品の輸出額は、20.33 億ドルであり、対前年比 0.13%減少となった。

〇品目別輸出状況

生糸、撚糸などの蚕糸原糸類の輸出は相変わらず好調であり、同輸出数量は 16,100 トン(26 万 8 千俵強)、同輸出金額は 3 億 8 千 9 百万ドルとなり、対前年比それぞれ 10 %増、11 %増となり、平均輸出単価は 24.15 ドル/kg (2,536 円/kg) (対前年比 0.3 %増)となった。これら原糸類の約 4 割 (数量ベース)を占めている生糸については、輸出数量 6,217 トン (10 万 3 千 6 百俵)、同輸出金額 1 億 2 千 9 百万ドルとなり、対前年比それぞれ 19 %増、22 %増であり、同平均輸出単価は 25.2 ドル/kg (2,646 円/kg) (対前年比 3 %増)となって徐々に輸出価格が上昇してきた。

絹織物の輸出状況は、数量で 1.46 億 m、金額で 4.71 億ドルとなり、対前年比それぞれ 11% 増、12% 増であり、平均輸出単価は 3.22 ドル/ m (対前年比約 1%増)となった。一方、シルク製品の輸出額は 11.63 億ドルで対前年比 7%減少であり、これは同製品の約 8 割を占めているシルク服装類の同期間中の輸出数量 7,488 万着、同輸出金額 9 億ドルと対前年比 それぞれ 18% 減、8% 減と不振が続いているのが主な原因である。

総じて生糸等の原糸類と絹織物輸出は好調、シルク製品輸出は不振という構図になっている。

○主要輸出市場別動向

輸出金額の多い順から見ると、米国、アラブ首長国連邦、香港、インド、イタリア、日本、パキスタン、ブラジルとなる。この中で最近好調なのはブラジル向けで対前年比 56%伸びており、逆に米国向けは金融不安の影響からか製品輸出が不振となって対前年比 15% 減少している。

○主要輸出省・市(産地)別動向

この間の5大主要輸出省・市(産地)は、浙江省、江蘇省、上海市、広東省、山東省となる。 これまで第5位にあった四川省は大地震被害で山東省に抜かれている。5大産地の中で上海 市は製品輸出の不振のため減少傾向にあり、一方、山東省の輸出が対前年比26%増加し健 闘しているのが目立っている。

このようにシルク全商品の輸出金額はドルベースで僅かな減少に止まっているものの、今年になってドルと人民元の為替事情(ドル安、元高)が絶え間なく進んできており、中国側の手取りの人民元ベースでは、この間、対前年比で少なくても2割以上の減収となっている。業界アナリストの多くは「人民元高の傾向は、下半期も変わる可能性は小さい」とみており、さらに米国の金融不安による貿易への影響を考慮すると中国シルク輸出環境は厳しい調整期に置かれているといえよう。

* (社) 日本生糸問屋協会月報 20.9.16 第 712 号及び 20.10.14 第 713 号による。

シルク豆辞典

シルクの豆辞典(18)

桑 の 薬 効 (1)

― 桑は仙薬の上首 ―

信州大学

名誉教授 嶋崎 昭典

人は20年たって漸く生まれたときの20倍近くの体重になるのに、カイコは桑の葉だけを食べ3週間少しで1万倍にもなると言います。環境の変化に強く成長のはやい(豆辞典14)、活力に富んだ桑樹は古来「天魔もこれを避ける霊木」といわれ、すでに中国最初の医薬書『神農本草』の中品には桑の薬効が記されているとのことです。

そうした流れを含む多くの医薬書を基に 纏められた栄西著の『喫茶養生記』は、一 方で『茶桑経』とも言われるように、茶と 桑の薬効を詳しく記しています。

今の時代の目で見ると科学的でないとか 迷信と言われる表現も多々ありますが、こ こでは『養生記』に示されている桑の様々 な薬効をそのまま紹介することにします。

1. 栄西僧正

建久2年(1191)中国からお茶の種を持って帰国した栄西(1141 – 1215)は九州筑前背振山で茶の栽培をはじめました。1202年、建仁寺開山のため京都に滞在していた栄西は栂尾明恵上人に桑の種を与え桑樹の栽培を広めたと伝えられま

す。『吾妻鏡』によりますと、さらに栄西は、承元5年(1212)正月将軍源実朝の病に良薬としてお茶とその効用を書きとめた『喫茶養生記』を献上し病の快癒に尽くしたとあります。また最初の入宋前、栄西は伯耆国大山の基好和尚のもとで密教を極め密教僧としても頭角を現していたと言います。『喫茶養生記』は『神農本草』に始まる中国の本草学と栄西のそうした歩みを背景に著述されたもので、五臓和合門と環境に表する。

栄西は建保2年僧正に任ぜられ、日本臨済宗の始祖として、また茶祖として崇められ鎌倉の寿福寺で天命を全うしたといいます。

2.『喫茶養生記』 ―巻上 五臓和合門―

上巻では、健康の基は「五臓の中でも特に大切な心臓の求める『苦味』をお茶から 摂取すること」と次ぎのように説いていま す(要約)。

お茶は末世(現世)に住む人々の養生の

仙薬で、寿命を延ばす妙術です。長生きのコツは五臓〔肝、心、脾、肺、腎〕それぞれを健全にすることです。その中でも心臓が一番大切で、心臓を気遣い養生しないと五臓全体が無力になってしまいます。その妙術はほかでもありません。お茶を飲むことです。

養生の基は臓器のそれぞれの好む五味 『肝臓(酸)、肺臓(辛)、心臓(苦)、脾 臓(甘)、腎臓(鹹)』を調和よく摂取す ることです(五臓和合)。 4 味は平常の 食べ物から取ることが出来ますが、心臓 の養生に必要な苦味はそうはいきませ ん。五臓の君主といわれる心臓の好むも のはお茶の持つあの苦味ですから、お茶 を良く飲んで心臓をほかの臓器と並んで バランスよく健全に保つのが養生の根源 です(図1)。



図1 中国産苦丁(苦茶)

栄西はこのように健康に大事な養生は、 お茶を頻繁に飲むことと説き、茶葉の採取 の仕方から乾燥、調整の時期、飲み方など を詳しく書きそえています。そして最後に 「中国の帝王は忠臣には必ず茶を与え、僧 侶が妙法を説けば茶を施す慣わしがあり、 それは昔も今も変わらないのです」といっ て巻の上を閉じています。

3.『喫茶養生記』―巻下 遣除魑魅門―

栄西は初めに『大元帥大将儀軌秘鈔』を 引用し次のように記しています(要約)。

末世(いまの世)の、人の寿命がわずか 百歳の時代になったのは、魑魅魍魎(妖怪、もののけ)が国土を乱し、人を悩ま し、色々の病気を起こし広めているから です。そうした病相の5種をあげますと 飲水病(糖尿病)、中風(高血圧)、不食 病、瘡(できもの)病、脚気病などです。 そうした病を治し平和な世にするには大 元帥大将儀秘法鈔の修法を行い、霊木の 桑樹を身に付け、服用して魑魅を封じ込 めなければなりません(遺除魑魅)

と説き、そうした末世の病を治し平和に する桑茶の効用の数々とその造り方を伝え ています(図2)。

4. 桑木は仙薬の上首 ―仙経―

中国の仙人には二つの型があります。一つは苦行仙、もう一つは服薬仙です。苦行仙は一粒の米や一粒の粟で長く命をながらえる苦行を積んだ仙人で、服薬仙は諸薬を

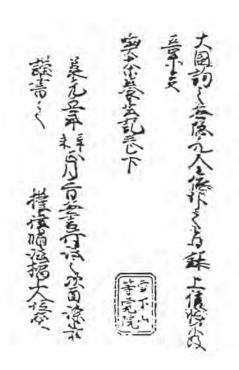


図2 承元五年正月三日の謹書とみられる 喫茶養生記。巻下

服用して長寿を保つ仙人です。その中で「最も長生きするのは桑木を服用する仙人なのです」といって、『仙経』のなかの一文を引用して、

仙経に云う。一切の仙薬は桑煎を得ざれば服せず云々と。先ず桑煎を服した後諸仙薬を服す。以って桑は是又仙薬の上首たるを知る。茶と桑と並び服す。貴重に高下無く、二つ具すれば仙薬の最高首、養生の妙術なり

と説いています。「桑と茶は甲乙付けがたいが、どんな仙薬も、初めに桑煎を飲むのでなければ諸々の仙薬の効用は顕われないのです。だから桑茶は仙薬の上首といわれるのです。病気の養生に桑木を用いますが、桑茶とお茶を一緒に用いるのは最高です。

お疑いなら中国へ行って調べればすぐ解る ことです」といい巻の下を閉じています。

そうした桑の効用の具体例を、次に紹介します。

5. 飲水病—糖尿病—

栄西のいう飲水病は今の糖尿病のことではないかといわれます。 『喫茶養生記』は次のよう述べています (要約)。

水をいくら飲んでも渇きを覚え、飲むとすぐ小便にでて、また喉の渇きを覚える病気です。濃味な旨い物の食べ過ぎから起こる病気です。この病気のときに塩からい物を摂るのは危険です。塩分をおさえて桑粥を服用しますと数日で効き目が顕われます。一方、充葉、葱は食べてはいけません。この病には油っぽく生臭い食べ物や野菜でもニンニク、ラッキョウなどの匂いの強い辛味の葷腥品は避けることが大切です。

と説いています。確かに桑葉には多量の ビタミンCが含まれています。

昭和になってからの事ですが、井上吉之ら(1938)は低温低圧で乾燥した桑葉の粉末を主成分に調整した試薬品を臨床実験に供したところ、糖尿病患者の症状が軽くなったと報告しています(桑の文化誌。千曲会)。

いま聞いても納得できる指摘が一千年近 くもの昔、すでになされていたのに驚かさ れます。

イベント情報

イベント名	企画内容および展示内容	開催期間	場所および主催者
日本絹の里 企画展 「進化するシルクの世 界」	シルクは古くから「繊維の女王」といわれていて、人々を魅了し続けています。シルクがフィブロインとセリシンというタンパク質からできていることを利用して様々な素材や製品を開発する研究や遺伝子組換えカイコの研究が大学、研究所、企業で進められています。これらの最新の研究や実用化されたものをご紹介します。 観覧料:一般400円(320円)、大高生250円(200円) *()内は団体割引(20名以上)の料金、中学生以下及び身体障害者手帳等お持ちの方とその介護者1名様無料	平成20年10月18日(土)~12月 1日(月) AM9:30~PM5:00 (毎週火曜日休館)	会場・主催・お問合わせ 群馬県県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町888-1 Tel:027-360-6300 Fax:027-360-6301 http://www.nipon-kinuno sato.or.jp 協力 (独)農業生物資源研究所 群馬県蚕糸技術センター 埼玉県農林総合研究センター等
かながわシルク フェア2008	神奈川県では、県内シルク産品を広く県内外に紹介し、その普及を図るため、シルクフェア(シルク製品の展示、機織り、組紐の体験、カラーコーディネイート、スカーフの巻き方教室など)を開催します。*体験は、土、日に実施、一部有料のもの有り。	平成20年11月1日(土)~9日 (日) 10:00~18:00	会場 シルクセンター国際観光 会館地下1階イベントスペース 主催 かながわシルクフェア実 行義員会 協賛 (社)日本44業協会、 (社)日本生糸問屋協会 後援 (財)大日本蚕糸会、 (社)日本絹人繊織物工業会 問合せ先 神奈川県Tel:045(210)5765 (社)日本・川県Tel:045(210)5765 (社)日本・川県では、1045(681)0007 http://www.kanagawa-kank ou.or.jp/silk-fair/part 2/index.html
「きものサミットin結 城」 一今なお手つくりの織物 ・本場結城紬からの発 信一	きものサミットは和装の振興と活性化、産地間の連携強化を狙いに、今回は結城地の街「結城市」で開催する。第12回目の今回は「第23回国民文化祭いばらぎ2008」の関連イベントとしても開催される。 落語家・三遊亭楽太郎氏による記念講演と4人のパネリストによる基調発言・自由討論・サミット総括などが行われる。 入場無料	平成20年11月8日(土) 15:00から	主催:きものサミットin結 城開催委員会・本場結城 納開催委員会・本場結城 神風管、茨城県、結城市、結 城商工会議所、京都商工 会議所 会場:結城市民文化センタ 「アクロス」大ホール 茨城県結城市中央町 間合せ先 Tel:0296-33-3118
シンポジウム 「先人の絹技術・文化 に学び今に活かす」 一邦楽器に伝承される絹 の弦ー	等(琴)や三味線等の邦楽器の弦に絹が使われており、国産繭による生挽きから弦の加工等伝説的手法の紹介及び絹弦の特性等についての講演会を開催し、実際の演奏を通して日本の絹技術・文化について語り合います。講師:諸岡英雄氏 奈良女子大教授絹鳴りからみた絹の音響特性金子敦子氏 名古屋芸術大学教授邦楽器弦が出来るまで徳丸吉彦氏 聖徳大学教授・放送大学客員教授・お茶の水女子大名誉教授日本の伝統楽器と絹演奏:生田流筝曲家研筝会二代目米川敏子氏参加費:無料(事前参加登録必要)	平成20年11月14日(金) 13:30~17:00	主催:日本シルク学会・文 化女子大学・(財)大日本蚕 糸会 (文化女子大学隣) 〒151-8523 渋谷区代々木3-22-1新宿文 化クイントビル2F 間合せ先 蚕糸科学研究所 Tel:03-3368-4891 Fax:03-3362-6210 e-mail:silk@silk.or.jp
植田いつ子の仕事 「布と影と夢」 50周年特別展示	植田いつ子デザイン活動50年を記念し、日本のシルクとその伝統技術保存のため、これ迄の主作品、日本のドレス、着物等を一同に展示します。 *入場無料	平成20年11月20日(木)~ 22日(土) (20日11:00~17:00) (21日、22日11:00~19:00)	会場:草月会館 東京都港区赤坂7-2-21 Te103 (3408) 1156 主催:植田いつ子アトリエ協力:(社)日本絹業協会 問合わせ先 植田いつ子アトリエ Te103 (5411) 1521 Fax03 (5411) 1522

片倉シルク記念館での 開催イベント	同記念館は、片倉工業最後の製糸工場(熊谷)の繭倉庫を利用したものであり、同社の製糸業121年の歴史を末永く保存継承するため、熊谷工場の操業当時の製糸機械を展示し繭から生糸になるまでの過程の紹介をするとともに「繭クラフト講習会」等のイベントを開催しています。 入場料:無料(繭クラフト講習会は別途参加費必要)	通常開館時間:10:00~17:00 (休館日:火曜日) ①11月の繭クラフト講習会 11月23日(日)10:00~15:00 題材「松竹梅と鉢植え」 参加費1,500円 ②12月の繭クラフト講習会 12月14日(日)10:00~15:00 題材「干支(丑)の置物」 参加費800円 ③武州熊谷窯 渡辺和比古陶 芸新作展 12月3日(水)~8日(月) 10:00~17:00 ④繭倉コンサート(フルート) 12月20日(土) 14:00~15:30	会場:片倉シルク記念館 埼玉県熊谷市本石2丁目 135番 Tel:048-522-4316 交通:JR熊谷駅から徒歩15 分、タクシー5分。車の場 合、関越自動車道の花園IC から約20分
国練検査80周年記念 「第59回丹後織物 求評会」	「丹後ちりめん」をはじめとする丹後の織物 総合展示会を京都にて開催し、丹後織物の技 術、品質、総合力を発信する。	平成20年11月25日(火)〜 27日(木) 25日は審査会、26、27日は 展示商談会	会場 京都市下京区の京都産業 会館 主催 丹後織物工業組合 Tel:0772(68)6131



自然の繭で作ったブーケ (盛岡の工房「夢繭*花」より)

登録コーディネーター一覧

蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業コーディネーター登録者一覧

平成 20 年 10 月 20 日現在

登録番号		氏	名		所属・役職名
19-001	島	田		弘	中央蚕糸協会顧問
19-002	西		文	<u>当</u> 秀	(社)日本絹業協会専務理事
19-003	中	尾	<u>_</u> 敏	明	(社)日本生糸問屋協会専務理事
19-004	_ ' _ 道	 鎮	 孝	雄	(社)日本絹業協会事業部長
19-005	<u>造</u> 筧	- 歩へ		平	全国農業協同組合連合会副審査役
19-006	<u>売</u> 清	水	重	一人	(財) 大日本蚕糸会蚕糸科学研究所上席研究員
19-007	田	 中	_ 幸	夫	(財) 大日本蚕糸会蚕業技術研究所上席研究員
19-008	代	_ <u>-</u>	丈	志	(財) 大日本蚕糸会蚕業技術研究所上席研究員
19-010	遠	<u> </u>	<u>^</u>	之	松岡株式会社監査役
19-011	渋	_ 		<u>/</u> 治	松岡株式会社シルク事業部課長
19-012	佐	 藤	<u></u>	行	松岡株式会社常務取締役
19-013		板橋	広	行	碓氷製糸農業協同組合参事
19-014	 	村	<u></u> 幸	文	碓氷製糸農業協同組合製造部長
19-015	 萩	原	<u></u> 和	憲	確 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
19-016	宮		照	<u>//</u> 彦	株式会社宮坂製糸所代表取締役
19-017	高	 橋	耕	_	株式会社宮坂製糸所専務取締役
19-018	服	部	 芳	和	有限会社織道楽塩野屋代表
19-019	木	下		郎	株式会社マルシバ代表取締役社長
19-021	門	<u>·</u> 	重	行	門倉メリヤス株式会社代表取締役
19-022	<u> </u>	 瀬	 久	<u>:</u>]	樋口株式会社工場長
19-023	福	永		穂	江一株式会社原糸事業部長
20-001	笹		 晴	美	有限会社ミラノリブ代表取締役
20-002	薦	田	智	昌	ロード・ニジュウイチ株式会社代表取締役
20-003	西西	澤	 厚	男	中央蚕糸協会専務理事
20-004	佐	藤	幸	香	「香染」工房主宰
20-005	土	井	芳	文	絹小沢株式会社業務推進役
20-006	石	田	克	己	二十一世紀の絹を考える会世話人代表
20-007	深	田	祥	=	株式会社深田商店専務取締役
20-008	兵	頭	眞	通	愛媛蚕種株式会社代表取締役
20-009	草	間	健	_	株式会社草間商会代表取締役
20-010	前	田	進		有限会社スリーエスプランニング代表取締役
20-011	星	野	伸	男	新增澤工業株式会社代表取締役
20-012	昆	野	和	夫	前いわい東農業協同組合養蚕農家指導担当
20-013	阿	部	末	男	岩手県養蚕活性化推進協議会代表
20-014	俵		武	司	株式会社千總副部長
20-015	原	田	尹	文	有限会社ハラダ代表取締役
20-016	西	尾	仁	志	有限会社西尾呉服店代表取締役
20-017	山	根	敏	男	
20-018	都	木	裕一	郎	ニッケン通商株式会社生糸販売担当責任者
20-019	伊	藤	公	_	株式会社伊と幸代表取締役社長
20-020	北	Ш	幸		株式会社伊と幸取締役社長室長
20-021	本	橋		夫	
20-022	宮		忠	光	株式会社伊と幸取締役副部長
20-024	野	中		雄	株式会社伊と幸和装部次長
20-025	亀	井	修	_	株式会社伊と幸営業部
20-026	宮	沢	巳 起		
20-027	東		宣	江	群馬県蚕糸館主宰

平成 20 年 10 月 20 日現在

登録番号		氏	名		所属・役職名
20-028	松	澤	 清	典	松澤製糸所
20-029	渡	邊	英	夫	
20-030	金	井		郎	東北撚糸株式会社代表取締役社長
20-031	中	谷	比佐	子	株式会社秋櫻舎代表取締役社長
20-032	北	丸	豊		豊栄繊維株式会社代表取締役社長
20-033	松	本	信	孝	有限会社ハック代表取締役
20-035	片	<u>山</u>	政	明	山形県養蚕産地推進員
20-037	角	谷	美和	子	ハクビ京都きもの学院学院長
20-038	原	田	晶	Ξ	アンファンテリブル代表
20-039	福	田	隆		株式会社龍工房代表取締役
20-040	清	水	武	彦	有限会社シンセイ(信州繭ブランド織物振興会会長)
20-041	梅	田	幸	平	有限会社幸和代表取締役
20-042	大	嶋	啓	子	株式会社 AWA - S 取締役
20-044	小」	此木	エツ	子	多摩シルクライフ21研究会代表
20-045	境		京	子	多摩シルクライフ21研究会
20-046	藤	井	浩	=	藤井絞株式会社取締役部長
20-047	松	井	慎一	郎	加賀グンゼ株式会社代表取締役
20-048	大	野	章		勝山織物株式会社
20-049	勝	Щ	健	史	勝山織物株式会社専務取締役
20-050	福	地	圭	_	丸八生糸株式会社
20-051	舞	鶴	_	雄	株式会社西陣まいづる代表取締役社長
20-052	旭		利	彦	ロード・ニジュウイチ株式会社
20-053	内	藤	吉	雄	艶金染工株式会社 F P 事業部(織物自販部)
20-054	前	田	勝	臣	株式会社日本クリエイティブセンター代表取締役
20-055	堀	内	新	也	農業、地域(繭)マイスター
20-056	林		太	-	昭和撚糸工業株式会社
20-057	中	野	豊		長崎絹業探究所製作担当
20-058	永	岩	則	子	長崎絹業探究所所長
20-059	宇	野	浩	誾	京丹後市商工観光部丹後の魅力綜合振興課主任
20-060	中	尾	浩	祥	株式会社丸万中尾取締役
20-061	小	П	和	興	株式会社帛撰代表取締役
20-062	吉	Ш	幸四	郎	有限会社吉川商事代表取締役
20-063	大	竹	史	朗	有限会社大竹商店代表取締役
20-064	加	藤	洋	次	株式会社加藤技術士事務所所長
20-065	田	中	裕	司	株式会社布四季庵ヨネオリ代表取締役
20-066	黒	田	秀	樹	株式会社伊と幸和装部次長
20-067	秋	山	眞		綾の手紬染織工房主宰
20-068	山	П	治	之	丹波生糸株式会社代表取締役
20-069	藤		美 登		川越むかし工房代表
20-070	藪	内	猛	之	
20-071	竹	下	和	利	有限会社寿光織本舗取締役社長
20-072	中	島	洋		玉川大学講師
20-073	渡	辺	健	次	渡文株式会社代表取締役専務
20-074	佐	々木	祥		株式会社川島織物セルコン
20-075	高	橋	弘	直	大門屋店主

(注) 標記名簿は公表を了承された方のみ掲載しております。

蚕糸関係博物館一覧

922-0039	名称	₹	住 所	電話
#沢融神医史養経館 992-0039 山形原来沢市門専門 1 丁目 1 - 87 0.73-2 970-1405 960-1405 編集県立日本絹の里 370-3511 群無県高崎市会占司 888 番地の 1 027-36 前膝下巻系記念館 370-3511 群無県高崎市会占司 888 番地の 1 027-36 前膝下巻系記念館 370-3511 群無県高崎市会占司 888 番地の 1 027-36 7 03-36 7		1	T	
960-1400 福島県所書の田 370-3511 日本語の日本語の日本語の日本語の日本語の日本語の日本語の日本語の日本語の日本語の				0226-46-4310
群馬県立日本結の里 370-351 群馬県部輪市金古田 88番 推切 1 072-23 被物参考館 "祭"(ゆかり) 376-0034 群馬県前標市製品 26番 階(飲魚公園バラ園内) 077-23 被物参考館 "祭"(ゆかり) 376-0034 群馬県前標市製品 26番 階(飲魚公園バラ園内) 077-23 被物参考館 "祭"(ゆかり) 376-0034 群馬県前標市製品 26番 階(飲魚公園バラ園内) 078-23 はの参考館 "祭"(ゆかり) 376-0034 群馬県前標市製品 768 港市中町 2-24-16 042-23 東京服工大学科学博物館 184-8588 東京都小金上井中町 2-24-16 042-23 250-24				0238-23-1325
部域市場を記念館 371-0036 群馬県朝油市教島門 262番地(敷金公園バラ園内) 077-24 指金ツレク記念館 360-0815 排出県解生市車 4.丁目 2 番 24 号 さもの支部館((別) 日本きもの文化窓会) 150-0002 東京都光台区景台 1-6-8 清水学園ビルらF~8 F 3-3-4 現で農工大学科学博物館 151-8329 東京都大会な日本 12-135 番地 048-52 双化学園庭師博物館 151-8329 東京都大会な日本 12-135 番地 042-33 取り選邦報館 192-0375 東京都上子位下地と山下町 1番地シルクセンター内 045-63 場外が開発料館 321-0023 神奈川県東市中区山下町 1番地シルクセンター内 045-63 組みの資料館 394-0028 長野県田市上丸子 1078 シナノケンシ (株) 内 026-63 調子経費科科物館 393-0028 長野県田市上丸子 1078 シナノケンシ (株) 内 026-63 調子経費科科物館 393-0028 長野県田市上丸子 1078 シナノケンシ (株) 内 026-63 類か程シルクミュージアム 399-4321 長野県財都下海辺戸町町 5350 026-65 まかりの資料館 410-3612 静岡県野政政化館 103-25 まゆの資料館 400-25 株園県日町市本町 6 1-日15 ステージ建後業有交流館内 025-75 まゆの資料館 601-1123 京都府京都市上京区券市市原 1402番地 25-75 建物の資料館 602-04-82 京都府京都市上京区券市市原 1205 の 175-74 地域の館 602-84-82 京都府京都市上京区券市市原 175 番地 075-43 機成館 602-84-82 京都府京都市上京区券市市原 175 番地 075-43 産水資料館 787-131 民地自教学会 177 番地 1 09-94-7 選手中央最も原地・世界神館 337-0003 栃木県南野町村 177 番地 1 09-94-7 列村市地上博物館 377-1212 蚕卵県東北市中野町村 18-17 番地 1 09-94-7 列村市地上博物館 377-1212 蚕卵県東北市中野町村 8 号 177 番地 1 09-94-7 列村市地上博物館 377-101 東地県東介代郡豊富村大島居 1619-1 042-55 産工中央最も原地・世界神館 377-003 栃木県南野町村 179 1-10 042-55 産工中央最も原地・世界館 387-0007 長野県土市市市月・日下37 番地 08-92-8 展子中・市村学が開始 377-003 栃木県市上町屋 204-1 03-0 077-4 現本市田土資料館 380-082 長野県政市本田区 205-012 東南野町村 8 号 177 番地 1 042-55 産工中産産原地・世界館 387-0007 長野県土市市内・日下37 番地 04-93-7 列村市地上博物館 377-003 栃木県市上町屋 204-1 03-0 077-7 列村市地上博物館 380-082 東原県東北市市田大学屋代学清水洋野の里屋史公園内 07-74 大田町市博物館 380-082 東原県海北市市北市町 204-7 028-8 最野宿田史民俗資籍 399-082 東原県海北市市大学屋代学清水洋等の里歴史公園内 07-74 その他内建植館 992-047 以市県南町市町大田屋 17日 1 1 1 0-16 023-8 株が上田市市地館 380-0026 東原県南町市大学屋代学清水洋町の里屋史公園内 07-84 を外川県田原市日本町 1 1 1 1 1 1 0-25-52 産門野田市地南館 380-0026 東原県海北市市北市の大部部 202-1 02-54 セルガー部を設備の東原県 1 1 1 1 1 1 1 0-25-52 産門が産港市地南館 380-0026 東原県海北市市北市町 1 1 1 1 1 0-25-52 産門が産土博物館 380-0026 東原県海北市市北市区 1 1 1 1 1 1 1 0-25-52 産門が産土博物館 380-0026 東原県東北市市 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		+		024-565-4889
議物参考館、常 (ゆかり) 376-0034	群馬県立日本絹の里		群馬県高崎市金古町 888 番地の 1	027-360-6300
対金の中のでは、		371-0036		027-231-9875
まらの美術館((排) 日本きもの文化協会) 150-0002 東京龍文会区法合 1-68 清水学圏ビル6F ~8F 03-344 東京鹿工大学科学博館 184-8588 東京都小金井市中町 2-24-16 042-53 文化学園殿師博物館 151-8529 東京都小金井市中町 2-24-16 042-53 文化学園殿師博物館 151-8529 東京都小金井市中町 2-24-16 042-53 20-27 03-325 東京都小金井中中町 2-24-16 042-53 20-27 03-325 東京都小金井中中田 2-17 042-53 東京都小金井中田 2-17 042-53 東京都小金井中田 2-17 042-54	織物参考館"紫"(ゆかり)	376-0034	群馬県桐生市東4丁目2番24号	0277-45-3111
東京農工大学科学博物館 151-8529 東京都入生子布謎水と89-2-7 10-2023 東京都人全子布謎水と89-2 10-2037 東京都人主子布謎水と89-2 10-2037 東京都人主子の謎とサイアンシ(株)内 0268-2 14-2038 日本の世界地館 394-0028 長野県田市土井、10-13 空豚工業(株)内 0268-2 14-2031 長野県シレクミュージアム 399-4321 長野県か「根市東伊那・428 番地 1-0-3 空豚工業(株)内 0268-2 14-2031 東かの世界館 410-3612 新岡県里茂郡北崎町宮内 63-2 055-8 15-2031 西藤田土・10-13 空豚工業(株)内 0268-2 15-2031 西藤田土・10-13 空豚工業(株)内 0268-2 15-204	片倉シルク記念館	360-0815	埼玉県熊谷市本石 2 丁目 135 番地	048-522-4316
35-329 東京都永谷区代々木 3-227 192-0375 東京都八王子市誌本 989-2 042-7 045-64 192-0375 東京都八王子市誌本 989-2 045-64 192-0375 東京都八王子市誌本 989-2 045-64 192-0375 東京都八王子市誌本 989-2 045-64 192-0375 東京都八王子市誌本 989-2 045-64 193-04088 193-04088 193-04088 193-04088 193-04088 193-04088 193-04088 193-04068 193-04088 193-0	きもの芸術館((財)日本きもの文化協会)	150-0002	東京都渋谷区渋谷 1-6-8 清水学園ビル 6F ~ 8F	03-3400-0286
銀の道幹料館	東京農工大学科学博物館	184-8588	東京都小金井市中町 2-24-16	042-388-7163
3月-0023 神奈川原林浜市中区山下町 1 番地シルクセンター内 045-64 編系紡績資料館 386-0498 長野県上田市上丸子 1078 シナノケンシ (株) 内 0268-4 温泉糸紡資料牌館 394-0028 長野県国市市田 4 丁目 1 番 39 号 0266-2 温野染織資料牌物館 393-0066 長野県駅市管田 1-10-3 登成正業 (株) 内 0266-2 20	文化学園服飾博物館	151-8529	東京都渋谷区代々木 3-22-7	03-3299-2387
編系紡績資料館 386-0498 長野県上田市上丸子 1078シナノケンシ(株)内 0268-4 同谷蚕糸博物館 394-0026 長野県田市本町 4丁目 1番 39号 0266-2 銀の資料館 386-018 長野県上田市常田 1 1丁目 39号 0266-2 銀の資料館 386-018 長野県上田市常田 1 1丁日 350 1026-2 銀の資料館 386-018 長野県上田市常田 1 1丁日 350 1026-2 銀の資料館 410-3612 静岡県育茂郡松崎町宮内 263-2 1058-4 大一レきもの歴史館 410-3612 静岡県育茂郡松崎町宮内 263-2 0558-4 110-8 株地 1 10-3 年 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	絹の道資料館	192-0375	東京都八王子市鑓水 989-2	0426-76-4064
綱系紡績資料館 386-0498 長野県田市上丸子 1078シナノケンシ (株) 内 0268-4 個の容養糸博物館 394-0026 長野県岡谷市本町 4丁目 1番 39 号 0266-2 編野突機質科博物館 395-0066 長野県殿訪郡下諏訪町曜町 3350 0266-2 編の資料館 386-018 長野県上田市常田 1-10-3 笠原工業 (株) 内 0268-2 線の資料館 386-018 長野県上田市常田 1-10-3 笠原工業 (株) 内 0268-2 線フィルクミュージアム 399-4321 長野県海・根市東伊那 482 番地 0255-5 まゆの資料館 410-3612 静岡県貿及郡仏崎町宮内 263-2 0558-4 1168-2 第40-2 255-5 まゆの資料館 410-3612 静岡県貿及郡仏崎町宮内 263-2 0558-4 個成館 602-8216 京都府京都市上京区堀川通リ今出川南入 075-43 グンゼ博物港 623-0111 京都府京都市上京区堀川通リ今出川南入 075-43 万本の書館 602-8216 京都府京都市上京区場田 94出川南入 075-43 万本の書館 623-0111 京都府京都市上京区場田 94出川南入 075-43 万本の書館 623-0111 京都府京都市上京区場田 94出川南入 075-43 万本の書館 797-121 変換西子市野村町野村 8号 177 番地 0894-7 797-121 変換西子市野村町野村 8号 177 番地 1 0894-7 797-121 変換西子市野村町野村 8号 177 番地 1 0894-7 797-121 変加 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		231-0023	神奈川県横浜市中区山下町1番地シルクセンター内	045-641-0841
開浴音系博物館 394-0028 長野県岡谷市本町 4 丁目 1 番 39 号 2026-2 編の資料館 386-0018 長野県駅前部 1-10-3 笠原工業 (株) 内 0266-2 編の資料館 386-0018 長野県駅か 4 R 市東 1 中 2 笠原 2 大田 2 笠原 2 竹 2 笠原 2 笠原 2 笠原 2 笠原 2 笠原 2 笠原		386-0498	長野県上田市上丸子 1078 シナノケンシ(株)内	0268-41-1800
393-0066 長野県諏訪部下諏訪町曜町5350 0266-2 180 資料館 386-0118 数野県上田市常田1-10-3 並原工業 (株) 内 0268-2 180 大き中の資料館 399-4321 長野県中が 482 番地 2025-8 2599-2 265-8 2599-2 265-8 265-8 2699-2 265-8 2699-2 265-8 2699-2 265-8		+		0266-22-5854
親の資料館 386-0018 長野県上田市常田 1-10-3 笠原工業 (株) 内 0268-2		+		0266-27-8503
お中央シルクミューシアム		+		0268-22-1230
## 1-D = t		+		0265-82-8381
## 10-3612 静岡県質茂郡松崎町宮内 263-2 0558-4 1月				0257-52-0117
川島織物文化館 601-1123 京都府京都市左原区静市市原町 265 075-74 075-45 07				0558-42-3912
四陣総会館 602-8216 京都府京都市上京区堀川通り今出川南入 075-45 機成館 602-8482 京都府京都市上京区浄福寺通上立売上る大黒町 693 番地 075-45 クンで博物苑 623-40011 京都府京都市上京区浄福寺通上立売上る大黒町 693 番地 075-45 クンで博物苑 623-40011 京都府京都市上京区浄福寺通上立売上る大黒町 693 番地 075-45 クンで博物苑 667-0311 兵庫県養父市大屋町蔵垣 246-2 0796-6 西子市野村シルク博物館 797-1212 愛媛県西子市野村町野村 8 号 177 番地 1 0894-7 番糸資料館 781-1301 宮媛県西子市野村町野村 8 号 177 番地 1 0894-7 番片		+		075-741-4120
### 602-8482				075-451-9231
京都府綾部市青野町 グンゼ (株) 周辺敷地内		+		075-431-9231
上垣守国養蚕記念館 667-0311 兵庫県養父市大屋町蔵垣 246-2 0796-6 0797-1212 愛媛県西予市野村町野村 8 号 177 番地 1 0894-7 258-6		+		0773-431-0020
西予市野村シルク博物館 797-1212 愛媛県西予市野村町野村 8 号 177 番地 0894-7		+		
展示の一部に登条・織物関連がある施設 - 重中央農協郷土資料館				0796-69-1580
国家の一部に蚕糸・織物関連がある施設 三重県津市一志町高野 1204-1 059-25 佐野市郷土博物館 327-0003 栃木県佐野市大橋町 2047 0283-2 18 18 18 18 18 18 18 1				0894-72-3710
三重中央農協郷土資料館 515-2504 三重県津市一志町高野 1204-1 059-25 佐野市郷土博物館 327-0003 栃木県佐野市大橋町 2047 0283-2 大間々町歴史民族館 376-0101 群馬県みどり市大間々町大間々 1030 0277-7 3767-101 対対・指導・対策・対策・対策・対策・対策・対策・対策・対策・対策・対策・対策・対策・対策・		/81-1301	高知県高岡郡越知町中 15// 番地	0889-26-1002
佐野市郷土博物館 327-0003 栃木県佐野市大橋町 2047 0283-2 大間々町歴史民族館 376-0101 群馬県みどり市大間々町大間々 1030 0277-7 羽村市郷土博物館 205-012 東京都羽村市羽 741 042-55 豊富村郷土資料館 400-1513 山梨県東八代郡豊富村大鳥居 1619-1 055-26 日本司法博物館 松本歴史の里) 390-0852 長野県 1 山梨県東八代郡豊富村大鳥居 1619-1 0263-4 長野県立歴史館 387-0007 長野県土曲市大字屋代字清水科野の里歴史公園内 026-27 須坂市立博物館 382-0028 長野県須坂市臥竜 2丁目 4番 1 号队竜公園内 026-27 須坂市立博物館 386-0413 長野県上田市東内 2564-1 0268-4 海野宿歴史民俗資料館 389-0518 長野県東御市本海野 1098 0268-6 十日町市博物館 948-0072 新潟県十日町市西本町 1 0257-5 美濃加茂市民ミュージアム 505-0004 岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-1 0574-2 その他関連施設 原始布・古代織参考館 992-0039 山形県米沢市門東町 1 丁目 1 − 16 0238-2 今鶴の里資料館 992-0474 山形県南陽市添山 2025-2 山形県南陽市流山 2025-2 は城紬関連施設 (結城市伝統工芸館) 307-0001 茨城県結城市大字結城 3018-1 0296-3 たくみの里木織の家「橡」(つるばみ) 379-1418 群馬県利根郡みなかみ町須川 784 0278-6 根海田名民家資料館 229-1124 神奈川県南陽市田名 4853 番 2 (大杉公園隣り) 0427-6 穂高町天蚕センター 399-8301 長野県南安曇郡穂高町大字有明 3618-4 0263-8 上田市立博物館 386-0026 長野県上田市二の丸 3 番 3 号 (上田城跡公園内) 0268-2 塩沢つむぎ記念館(織の文化館) 949-6408 新潟県南魚沼市塩沢 1227-1 0257-8 青織りの館(州マト谷市総合産業会館内) 947-0028 新潟県中角田市塩ドフ17 0257-8 青織 1 949-6408 新潟県南角沼市塩沢 1227-1 0257-8 青海 1 940-6408 新潟県南角沼市塩ド 1 1 029-63-1 025-1 025-8 東州 1 940-6408 新潟県南角沼市塩ド 1 027-7 025-8 東州 1 940-6408 新潟県南角沼市塩ド 1 027-7 025-8 東川 1 940-94-94 042-		F45 2504		050 202 0040
大間々町歴史民族館 376-0101 群馬県みどり市大間々町大間々 1030 0277-7 羽村市郷土博物館 205-0012 東京都羽村市羽 741 042-55 豊富村郷土資料館 400-1513 山梨県東八代郡豊富村大鳥居 1619-1 055-26 日本司法博物館(松本歴史の里) 390-0852 長野県北本市島立小柴 2196-1 0263-4 長野県立歴史館 387-0007 長野県千曲市大字屋代字清水科野の里歴史公園内 026-27 須坂市立博物館 382-0028 長野県1毎市大字屋代字清水科野の里歴史公園内 026-27 須坂市立博物館 386-0413 長野県上田市東内 2564-1 0268-4 海野宿歴史民俗資料館 389-0518 長野県東御市本海野 1098 0268-6 十日町市博物館 948-0072 新潟県十日町市西本町 1 0257-5 麦加茂市民ミュージアム 505-0004 岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-1 0574-2 その他関連施設 原始布・古代織参考館 992-039 山形県米沢市門東町 1 丁目 1 − 16 0238-2 夕鶴の里資料館 992-0474 山形県南陽市漆山 2025-2 0238-4 松ヶ丘開墾記念館 997-0152 山形県鶴岡市羽黒町松ヶ丘 29 0235-6 結城紬関連施設 (結城市伝統工芸館) 307-0001 茨城県結城市大字結城 3018-1 0296-3 結城紬関連施設 (結城市伝統工芸館) 379-1418 群馬県利根郡かなかみ町須川 784 即市布北土博物館 182-0026 東京都調布市小島町 3-26-2 何42-8 相模田名民家資料館 229-1124 神奈川県相模原市田名 4853 番 2 (大杉公園隣り) 0427-6 穂高町天蚕センター 399-8301 長野県南安曇郡穂高町大字有明 3618-4 0263-8 塩沢つむぎ記念館 (織の文化館) 949-6408 新潟県南田市塩八 1227-1 0257-8 青織りの館 (小千谷市総合産業会館内) 947-0028 新潟県市市塩沢 1227-1 0257-8 手織りの館 (小千谷市総合産業会館内) 947-0028 新潟県市市域内 1-8-25 0258-8 白山工房 (織りの資料館) 920-2501 石川県自山市白峰村タ 17 07619-1540 0772-7		+	 	059-293-0010
現村市郷土博物館 205-0012 東京都羽村市羽 741 042-55 豊富村郷土資料館 400-1513 山梨県東八代郡豊富村大鳥居 1619-1 055-26 日本司法博物館 (松本歴史の里) 390-0852 長野県立歴史館 387-0007 長野県立歴史館 387-0007 長野県立歴史代育・大学屋代字清水科野の里歴史公園内 026-27 34万-004 長野県立歴史財産 380-028 長野県須坂市印竜 2 丁目 4 番 1 号臥竜公園内 026-27 025-26 0				0283-22-5111
豊富村郷土資料館 400-1513 山梨県東八代郡豊富村大鳥居 1619-1 055-26 日本司法博物館(松本歴史の里) 390-0852 長野県本本市島立小柴 2196-1 0263-4 長野県立歴史館 387-0007 長野県千曲市大字屋代字清水科野の里歴史公園内 026-27 須坂市立博物館 382-0028 長野県東田市東内 2564-1 0268-4 丸子町郷土博物館 386-0413 長野県東御市本海野 1098 0268-6 十日町市博物館 948-0072 新潟県十日町市西本町 1 0257-5 美濃加茂市民ミュージアム 505-0004 岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-1 0574-2 その他関連施設 992-0039 山形県木沢市門東町 1 丁目 1 - 16 0238-2 夕鶴の里資料館 992-0474 山形県南陽市流山 2025-2 0238-4 松ヶ丘開墾記念館 997-0152 山形県南陽市流山 2025-2 0238-4 松ヶ丘開墾記念館 997-0152 山形県南陽市市場町 1 丁目 1 - 16 0235-6 北城閣連施設(結城市伝統工芸館) 307-0001 茨城県結城市大字結城 3018-1 0296-3 たくみの里木織の家「榛」(つるばみ) 379-1418 群馬県利根部みなかみの町須川 784 0278-6 調布市郷土博物館 182-0026 東京都調布市小島町 3-26-2 0424-8 相模田名民家資料館 229-1124 神奈川県相模原市田名 4853 番 2 (大杉公園隣り) 0427-6 北京町大舎町域の館(織の文化館) 947-0028 新潟県市金町地房、1227-1 0257-8 海郷リの館(納の館) <td></td> <td>+</td> <td></td> <td>0277-73-4123</td>		+		0277-73-4123
日本司法博物館(松本歴史の里) 390-0852 長野県松本市島立小柴 2196-1 0263-4 長野県立歴史館 387-0007 長野県千曲市大字屋代字清水科野の里歴史公園内 026-27 須坂市立博物館 382-0028 長野県須坂市臥竜 2 丁目 4 番 1 号臥竜公園内 026-24 九子町郷土博物館 386-0413 長野県上田市東内 2564-1 0268-4 海野宿歴史民俗資料館 389-0518 長野県東御市本海野 1098 0268-6 十日町市博物館 948-0072 新潟県十日町市西本町 1 0257-5 美濃加茂市民ミュージアム 505-0004 岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-1 0574-2 その他関連施設 992-039 山形県米沢市門東町 1 丁目 1 − 16 0238-2 夕鶴の里資料館 992-0474 山形県南陽市漆山 2025-2 0238-4 松ヶ丘開墾記念館 997-0152 山形県鶴岡市羽黒町松ヶ丘 29 0235-6 たくみの里木織の家「棒」(つるばみ) 379-1418 群馬県利根郡みなかみ町須川 784 0278-6 調布市郷土博物館 182-0026 東京都調布市小島町 3-26-2 0424-8 相模田名民家資料館 229-1124 神奈川県相模原市田名 4853 番 2 (大杉公園隣り) 0427-6 穂高町天蚕センター 399-8301 長野県南安曇郡穂高町大字有明 3618-4 0268-2 出形の館(小千谷市総合産業会館内) 947-0028 新潟県南南沼市塩沢 1227-1 0257-8 手織りの館(小千谷市総合産業会館内) 947-0028 新潟県南南沼市塩沢 1227-1 0257-8 自山工房(織りの資料館) 920-2501 石川県自山市白峰村ヌ 17 07619 手おりの里金剛苑 529-1204 滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 514 0749-3 総元田勇(田勇機業株式会社) 629-3104 京都府京丹後市網野町浅茂川 112		+		042-558-2561
長野県立歴史館387-0007長野県千曲市大字屋代字清水科野の里歴史公園内026-27須坂市立博物館382-0028長野県須坂市臥竜 2 丁目 4 番 1 号臥竜公園内026-24丸子町郷土博物館386-0413長野県東御市本海野 10980268-6海野宿歴史民俗資料館389-0518長野県東御市本海野 10980268-6十日町市博物館948-0072新潟県十日町市西本町 10257-5美濃加茂市民ミュージアム505-0004岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-10574-2その他関連施設原始布・古代織参考館992-0039山形県米沢市門東町 1 丁目 1 − 160238-2夕鶴の里資料館992-0474山形県南陽市漆山 2025-20238-4松ヶ丘開墾記念館997-0152山形県鶴岡市羽黒町松ヶ丘 290235-6結城紬関連施設(結城市伝統工芸館)307-0001茨城県結城市大字結城 3018-10296-3たくみの里木織の家「橡」(つるばみ)379-1418群馬県利根郡みなかみ町須川 7840278-6調布市郷土博物館182-0026東京都調布市小島町 3-26-20424-8相模田名民家資料館229-1124神奈川県相模原市田名 4853 番 2 (大杉公園隣り)0427-6穂高町天蚕センター399-8301長野県南安曇郡穂高町大字有明 3618-40263-8上田市立博物館386-0026長野県中田東西の丸 3 番 3 号 (上田城跡公園内)0268-8重訳つむぎ記念館(織の文化館)949-6408新潟県南京市塩沢 1227-10257-8手織りの館(小千谷市総合産業会館内)947-0028新潟県南京市塩沢 1227-10258-8白山工房(織りの資料館)920-2501石川県白山市白峰村ヌ 1707619-9手おりの里金剛苑529-1204滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 5140749-3織元田勇伐業株式会社)629-3104京都府京丹後市網野町浅茂川 1120772-7				055-269-3399
須坂市立博物館382-0028長野県須坂市臥竜2丁目4番1号臥竜公園内026-24丸子町郷土博物館386-0413長野県上田市東内2564-10268-6海野宿歴史民俗資料館389-0518長野県東御市本海野10980268-6十日町市博物館948-0072新潟県十日町市西本町10257-5美濃加茂市民ミュージアム505-0004岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-10574-2その他関連施設原始布・古代織参考館992-0039山形県米沢市門東町1丁目1-160238-2夕鶴の里資料館992-0474山形県南陽市添山2025-20238-4松ヶ丘開墾記念館997-0152山形県鶴岡市羽黒町松ヶ丘290235-6結城紬関連施設(結城市伝統工芸館)307-0001茨城県結城市大字結城3018-10296-3たくみの里木織の家「橡」(つるばみ)379-1418群馬県利根郡みなかめ町須川7840278-6調布市郷土博物館182-0026東京都調布市小島町3-26-20424-8相模田名民家資料館229-1124神奈川県相模原市田名 4853番2(大杉公園隣り)0427-6建高町天蚕センター399-8301長野県中安量郡穂高町大字有明3618-40263-8上田市立博物館386-0026長野県中安量郡穂高町大字有明3618-40263-8上田市立博物館386-0026長野県中田市二の丸3番3号(上田城跡公園内)0268-2塩沢つむぎ記念館(織の文化館)949-6408新潟県南魚沼市塩沢1227-10257-8手織りの館(小千谷市総合産業会館内)947-0028新潟県小千谷市城内1-8-250258-8白山工房(織りの資料館)920-2501石川県白山市白峰村ヌ1707619-3手おりの里金剛苑529-1204滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外5140749-3織元田勇(田勇機業株式会社)629-3104京都府京丹後市網野町浅茂川1120772-7		+		0263-47-4515
丸子町郷土博物館386-0413長野県上田市東内 2564-10268-4海野宿歴史民俗資料館389-0518長野県東御市本海野 10980268-6十日町市博物館948-0072新潟県十日町市西本町 10257-5美濃加茂市民ミュージアム505-0004岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-10574-2その他関連施設少館の里資料館992-0039山形県帯派市門東町 1 丁目 1 − 160238-2夕鶴の里資料館992-0474山形県南陽市漆山 2025-20238-4松ヶ丘開墾記念館997-0152山形県鶴岡市羽黒町松ヶ丘 290235-6結城紬関連施設(結城市伝統工芸館)307-0001茨城県結城市大字結城 3018-10296-3たくみの里木織の家「椽」(つるばみ)379-1418群馬県利根郡みなかみ町須川 7840278-6調布市郷土博物館182-0026東京都調布市小毎町 3-26-20424-8相模田名民家資料館229-1124神奈川県相模原市田名 4853 番 2 (大杉公園隣り)0427-6集高町天蚕センター399-8301長野県市安曇郡穂高町大字有明 3618-40263-8上田市立博物館386-0026長野県市田市二の丸 3 番 3 号 (上田城跡公園内)0268-2塩沢つむざ記念館(織の文化館)949-6408新潟県南魚沼市塩沢 1227-10257-8手織りの館(小千谷市総合産業会館内)947-0028新潟県小千谷市城内 1-8-250258-8白山工房(織りの資料館)920-2501石川県白山市白峰村ヌ 1707619-手おりの里金剛苑529-1204滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 5140749-3織元田勇(世界株式会社)629-3104京都府京丹後市網野町浅茂川 1120772-7				026-274-2000
海野宿歴史民俗資料館 389-0518 長野県東御市本海野 1098 0268-6 十日町市博物館 948-0072 新潟県十日町市西本町 1 0257-5 美濃加茂市民ミュージアム 505-0004 岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-1 0574-2 その他関連施設 原始布・古代織参考館 992-0039 山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 16 0238-2 夕鶴の里資料館 992-0474 山形県南陽市漆山 2025-2 0238-4 松ヶ丘開墾記念館 997-0152 山形県鶴岡市羽黒町松ヶ丘 29 0235-6 結城紬関連施設 (結城市伝統工芸館) 307-0001 茨城県結城市大字結城 3018-1 0296-3 たくみの里木織の家「椽」(つるばみ) 379-1418 群馬県利根郡みなかみ町須川 784 0278-6 調布市郷土博物館 182-0026 東京都調布市小島町 3-26-2 0424-8 相模田名民家資料館 229-1124 神奈川県相模原市田名 4853 番 2 (大杉公園隣り) 0427-6 穂高町天蚕センター 399-8301 長野県南安曇郡穂高町大字有明 3618-4 0263-8 上田市立博物館 386-0026 長野県上田市二の丸 3 番 3 号 (上田城跡公園内) 0268-2 塩沢つむぎ記念館 (織の文化館) 949-6408 新潟県南魚沼市塩沢 1227-1 0257-8 手織りの館 (小千谷市総合産業会館内) 947-0028 新潟県小千谷市城内 1-8-25 0258-8 白山工房 (織りの資料館) 920-2501 石川県自山市白峰村ヌ 17 07619-5 まおりの里金剛苑 529-1204 滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 514 0749-3 織元田勇 (田勇機業株式会社) 629-3104 京都府京丹後市網野町浅茂川 112 0772-7				026-245-0407
十日町市博物館 948-0072 新潟県十日町市西本町 1 0257-5 美濃加茂市民ミュージアム 505-0004 岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-1 0574-2 その他関連施設 原始布・古代織参考館 992-0039 山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 16 0238-2 2 0238-4 松ヶ丘開墾記念館 997-0152 山形県鶴岡市羽黒町松ヶ丘 29 0235-6 結城紬関連施設 (結城市伝統工芸館) 307-0001 茨城県結城市大字結城 3018-1 0296-3 たくみの里木織の家「榛」(つるばみ) 379-1418 群馬県利根郡みなかみ町須川 784 0278-6 調布市郷土博物館 182-0026 東京都調布市小島町 3-26-2 0424-8 相模田名民家資料館 229-1124 神奈川県相模原市田名 4853 番 2 (大杉公園隣り) 0427-6 穂高町天蚕センター 399-8301 長野県南安曇郡穂高町大字有明 3618-4 0263-8 上田市立博物館 386-0026 長野県上田市二の丸 3 番 3 号 (上田城跡公園内) 0268-2 塩沢つむぎ記念館(織の文化館) 949-6408 新潟県南魚沼市塩沢 1227-1 0257-8 手織りの館(小千谷市総合産業会館内) 947-0028 新潟県小千谷市城内 1-8-25 0258-8 白山工房(織りの資料館) 920-2501 石川県白山市白峰村ヌ 17 07619-5 まりの里金剛苑 529-1204 滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 514 0749-3 織元田勇(田勇機業株式会社) 629-3104 京都府京丹後市網野町浅茂川 112	丸子町郷土博物館	386-0413	長野県上田市東内 2564-1	0268-42-2158
美濃加茂市民ミュージアム505-0004岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-10574-2その他関連施設原始布・古代織参考館992-0039山形県米沢市門東町1丁目1 - 160238-2夕鶴の里資料館992-0474山形県南陽市漆山 2025-20238-4松ヶ丘開墾記念館997-0152山形県鶴岡市羽黒町松ヶ丘 290235-6結城紬関連施設(結城市伝統工芸館)307-0001茨城県結城市大字結城 3018-10296-3たくみの里木織の家「橡」(つるばみ)379-1418群馬県利根郡みなかみ町須川 7840278-6調布市郷土博物館182-0026東京都調布市小島町 3-26-20424-8相模田名民家資料館229-1124神奈川県相模原市田名 4853 番 2 (大杉公園隣り)0427-6穂高町天蚕センター399-8301長野県南安曇郡穂高町大字有明 3618-40263-8上田市立博物館386-0026長野県上田市二の丸 3 番 3 号 (上田城跡公園内)0268-2塩沢つむぎ記念館(織の文化館)949-6408新潟県南魚沼市塩沢 1227-10257-8手織りの館(小千谷市総合産業会館内)947-0028新潟県小千谷市城内 1-8-250258-8白山工房(織りの資料館)920-2501石川県白山市白峰村ヌ 1707619-手おりの里金剛苑529-1204滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 5140749-3織元田勇(田勇機業株式会社)629-3104京都府京丹後市網野町浅茂川 1120772-7	海野宿歴史民俗資料館	389-0518	長野県東御市本海野 1098	0268-64-1000
原始布・古代織参考館 992-0039 山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 16 0238-2 夕鶴の里資料館 992-0474 山形県南陽市漆山 2025-2 0238-4 松ヶ丘開墾記念館 997-0152 山形県鶴岡市羽黒町松ヶ丘 29 0235-6 結城紬関連施設 (結城市伝統工芸館) 307-0001 茨城県結城市大字結城 3018-1 0296-3 たくみの里木織の家「橡」(つるばみ) 379-1418 群馬県利根郡みなかみ町須川 784 0278-6 調布市郷土博物館 182-0026 東京都調布市小島町 3-26-2 0424-8 相模田名民家資料館 229-1124 神奈川県相模原市田名 4853 番 2 (大杉公園隣り) 0427-6 穂高町天蚕センター 399-8301 長野県南安曇郡穂高町大字有明 3618-4 0263-8 上田市立博物館 386-0026 長野県上田市二の丸 3 番 3 号 (上田城跡公園内) 0268-2 塩沢つむぎ記念館(織の文化館) 949-6408 新潟県南魚沼市塩沢 1227-1 0257-8 手織りの館(小千谷市総合産業会館内) 947-0028 新潟県小千谷市城内 1-8-25 0258-8 白山工房(織りの資料館) 920-2501 石川県白山市白峰村ヌ 17 7619-3 手おりの里金剛苑 529-1204 滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 514 0749-3 織元田勇(田勇機業株式会社) 629-3104 京都府京丹後市網野町浅茂川 112	十日町市博物館	948-0072	新潟県十日町市西本町 1	0257-57-5531
原始布・古代織参考館 992-0039 山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 16 0238-2 9鶴の里資料館 992-0474 山形県南陽市漆山 2025-2 0238-4 松ヶ丘開墾記念館 997-0152 山形県鶴岡市羽黒町松ヶ丘 29 0235-6 結城紬関連施設(結城市伝統工芸館) 307-0001 茨城県結城市大字結城 3018-1 0296-3 たくみの里木織の家「橡」(つるばみ) 379-1418 群馬県利根郡みなかみ町須川 784 0278-6 調布市郷土博物館 182-0026 東京都調布市小島町 3-26-2 0424-8 相模田名民家資料館 229-1124 神奈川県相模原市田名 4853 番 2 (大杉公園隣り) 0427-6 穂高町天蚕センター 399-8301 長野県南安曇郡穂高町大字有明 3618-4 0263-8 上田市立博物館 386-0026 長野県上田市二の丸 3 番 3 号 (上田城跡公園内) 0268-2 塩沢つむぎ記念館(織の文化館) 949-6408 新潟県南魚沼市塩沢 1227-1 0257-8 新潟県小千谷市城内 1-8-25 0258-8 白山工房(織りの資料館) 920-2501 石川県白山市白峰村ヌ 17 07619-5 529-1204 滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 514 0749-3 織元田勇 (田勇機業株式会社) 629-3104 京都府京丹後市網野町浅茂川 112 0772-7	美濃加茂市民ミュージアム	505-0004	岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-1	0574-28-1110
夕鶴の里資料館992-0474山形県南陽市漆山 2025-20238-4松ヶ丘開墾記念館997-0152山形県鶴岡市羽黒町松ヶ丘 290235-6結城紬関連施設(結城市伝統工芸館)307-0001茨城県結城市大字結城 3018-10296-3たくみの里木織の家「橡」(つるばみ)379-1418群馬県利根郡みなかみ町須川 7840278-6調布市郷土博物館182-0026東京都調布市小島町 3-26-20424-8相模田名民家資料館229-1124神奈川県相模原市田名 4853 番 2 (大杉公園隣り)0427-6穂高町天蚕センター399-8301長野県南安曇郡穂高町大字有明 3618-40263-8上田市立博物館386-0026長野県上田市二の丸 3 番 3 号 (上田城跡公園内)0268-2塩沢つむぎ記念館(織の文化館)949-6408新潟県南魚沼市塩沢 1227-10257-8手織りの館(小千谷市総合産業会館内)947-0028新潟県小千谷市城内 1-8-250258-8白山工房(織りの資料館)920-2501石川県白山市白峰村ヌ 1707619-手おりの里金剛苑529-1204滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 5140749-3織元田勇(田勇機業株式会社)629-3104京都府京丹後市網野町浅茂川 1120772-7	その他関連施設			
松ヶ丘開墾記念館 997-0152 山形県鶴岡市羽黒町松ヶ丘 29 0235-6 結城紬関連施設(結城市伝統工芸館) 307-0001 茨城県結城市大字結城 3018-1 0296-3 たくみの里木織の家「橡」(つるばみ) 379-1418 群馬県利根郡みなかみ町須川 784 0278-6 調布市郷土博物館 182-0026 東京都調布市小島町 3-26-2 0424-8 相模田名民家資料館 229-1124 神奈川県相模原市田名 4853 番 2 (大杉公園隣り) 0427-6 穂高町天蚕センター 399-8301 長野県南安曇郡穂高町大字有明 3618-4 0263-8 上田市立博物館 386-0026 長野県上田市二の丸 3 番 3 号 (上田城跡公園内) 0268-2 塩沢つむぎ記念館(織の文化館) 949-6408 新潟県南魚沼市塩沢 1227-1 0257-8 手織りの館(小千谷市総合産業会館内) 947-0028 新潟県小千谷市城内 1-8-25 0258-8 白山工房(織りの資料館) 920-2501 石川県白山市白峰村ヌ 17 07619-5 529-1204 滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 514 0749-3 織元田勇 (田勇機業株式会社) 629-3104 京都府京丹後市網野町浅茂川 112 0772-7	原始布・古代織参考館	992-0039	山形県米沢市門東町1丁目1-16	0238-22-8141
結城紬関連施設(結城市伝統工芸館)307-0001茨城県結城市大字結城 3018-10296-3たくみの里木織の家「橡」(つるばみ)379-1418群馬県利根郡みなかみ町須川 7840278-6調布市郷土博物館182-0026東京都調布市小島町 3-26-20424-8相模田名民家資料館229-1124神奈川県相模原市田名 4853 番 2 (大杉公園隣り)0427-6穂高町天蚕センター399-8301長野県南安曇郡穂高町大字有明 3618-40263-8上田市立博物館386-0026長野県上田市二の丸 3 番 3 号 (上田城跡公園内)0268-2塩沢つむぎ記念館(織の文化館)949-6408新潟県南魚沼市塩沢 1227-10257-8手織りの館(小千谷市総合産業会館内)947-0028新潟県小千谷市城内 1-8-250258-8白山工房(織りの資料館)920-2501石川県白山市白峰村ヌ 1707619-手おりの里金剛苑529-1204滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 5140749-3織元田勇(世勇機業株式会社)629-3104京都府京丹後市網野町浅茂川 1120772-7	夕鶴の里資料館	992-0474	山形県南陽市漆山 2025-2	0238-47-5800
結城紬関連施設(結城市伝統工芸館)307-0001茨城県結城市大字結城 3018-10296-3たくみの里木織の家「橡」(つるばみ)379-1418群馬県利根郡みなかみ町須川 7840278-6調布市郷土博物館182-0026東京都調布市小島町 3-26-20424-8相模田名民家資料館229-1124神奈川県相模原市田名 4853 番 2 (大杉公園隣り)0427-6穂高町天蚕センター399-8301長野県南安曇郡穂高町大字有明 3618-40263-8上田市立博物館386-0026長野県上田市二の丸 3 番 3 号 (上田城跡公園内)0268-2塩沢つむぎ記念館(織の文化館)949-6408新潟県南魚沼市塩沢 1227-10257-8手織りの館(小千谷市総合産業会館内)947-0028新潟県小千谷市城内 1-8-250258-8白山工房(織りの資料館)920-2501石川県白山市白峰村ヌ 1707619-手おりの里金剛苑529-1204滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 5140749-3織元田勇(世勇機業株式会社)629-3104京都府京丹後市網野町浅茂川 1120772-7	松ヶ丘開墾記念館	997-0152	山形県鶴岡市羽黒町松ヶ丘 29	0235-62-3985
たくみの里木織の家「橡」(つるばみ)379-1418群馬県利根郡みなかみ町須川 7840278-6調布市郷土博物館182-0026東京都調布市小島町 3-26-20424-8相模田名民家資料館229-1124神奈川県相模原市田名 4853 番 2 (大杉公園隣り)0427-6穂高町天蚕センター399-8301長野県南安曇郡穂高町大字有明 3618-40263-8上田市立博物館386-0026長野県上田市二の丸 3 番 3 号 (上田城跡公園内)0268-2塩沢つむぎ記念館(織の文化館)949-6408新潟県南魚沼市塩沢 1227-10257-8手織りの館(小千谷市総合産業会館内)947-0028新潟県小千谷市城内 1-8-250258-8白山工房(織りの資料館)920-2501石川県白山市白峰村ヌ 1707619-手おりの里金剛苑529-1204滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 5140749-3織元田勇(田勇機業株式会社)629-3104京都府京丹後市網野町浅茂川 1120772-7		307-0001		0296-32-7949
調布市郷土博物館 182-0026 東京都調布市小島町 3-26-2 0424-8 相模田名民家資料館 229-1124 神奈川県相模原市田名 4853 番 2 (大杉公園隣り) 0427-6 穂高町天蚕センター 399-8301 長野県南安曇郡穂高町大字有明 3618-4 0263-8 上田市立博物館 386-0026 長野県上田市二の丸 3 番 3 号(上田城跡公園内) 0268-2 塩沢つむぎ記念館(織の文化館) 949-6408 新潟県南魚沼市塩沢 1227-1 0257-8 手織りの館(小千谷市総合産業会館内) 947-0028 新潟県小千谷市城内 1-8-25 0258-8 白山工房(織りの資料館) 920-2501 石川県白山市白峰村ヌ 17 手おりの里金剛苑 529-1204 滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 514 0749-3 織元田勇(田勇機業株式会社) 629-3104 京都府京丹後市網野町浅茂川 112 0772-7		+		0278-64-1308
相模田名民家資料館 229-1124 神奈川県相模原市田名 4853 番 2 (大杉公園隣り) 0427-6 穂高町天蚕センター 399-8301 長野県南安曇郡穂高町大字有明 3618-4 0263-8 上田市立博物館 386-0026 長野県上田市二の丸 3 番 3 号 (上田城跡公園内) 0268-2 塩沢つむぎ記念館(織の文化館) 949-6408 新潟県南魚沼市塩沢 1227-1 0257-8 手織りの館(小千谷市総合産業会館内) 947-0028 新潟県小千谷市城内 1-8-25 0258-8 白山工房(織りの資料館) 920-2501 石川県白山市白峰村ヌ 17 07619-5 529-1204 滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 514 0749-3 織元田勇(田勇機業株式会社) 629-3104 京都府京丹後市網野町浅茂川 112 0772-7		+		0424-81-7656
穂高町天蚕センター 399-8301 長野県南安曇郡穂高町大字有明 3618-4 0263-8 上田市立博物館 386-0026 長野県上田市二の丸 3 番 3 号(上田城跡公園内) 0268-2 塩沢つむぎ記念館(織の文化館) 949-6408 新潟県南魚沼市塩沢 1227-1 0257-8 手織りの館(小千谷市総合産業会館内) 947-0028 新潟県小千谷市城内 1-8-25 0258-8 白山工房(織りの資料館) 920-2501 石川県白山市白峰村ヌ 17 07619- 手おりの里金剛苑 529-1204 滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 514 0749-3 織元田勇(田勇機業株式会社) 629-3104 京都府京丹後市網野町浅茂川 112 0772-7				0427-61-7118
上田市立博物館386-0026長野県上田市二の丸3番3号(上田城跡公園内)0268-2塩沢つむぎ記念館(織の文化館)949-6408新潟県南魚沼市塩沢1227-10257-8手織りの館(小千谷市総合産業会館内)947-0028新潟県小千谷市城内1-8-250258-8白山工房(織りの資料館)920-2501石川県白山市白峰村ヌ1707619-手おりの里金剛苑529-1204滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外5140749-3織元田勇(田勇機業株式会社)629-3104京都府京丹後市網野町浅茂川1120772-7		+		0263-83-3835
塩沢つむぎ記念館(織の文化館) 949-6408 新潟県南魚沼市塩沢 1227-1 0257-8 手織りの館(小千谷市総合産業会館内) 947-0028 新潟県小千谷市城内 1-8-25 0258-8 白山工房(織りの資料館) 920-2501 石川県白山市白峰村ヌ 17 07619-5 529-1204 滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 514 0749-3 織元田勇(田勇機業株式会社) 629-3104 京都府京丹後市網野町浅茂川 112 0772-7				0268-22-1274
手織りの館(小千谷市総合産業会館内)947-0028新潟県小千谷市城内 1-8-250258-8白山工房(織りの資料館)920-2501石川県白山市白峰村ヌ 1707619-3手おりの里金剛苑529-1204滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 5140749-3織元田勇(田勇機業株式会社)629-3104京都府京丹後市網野町浅茂川 1120772-7		+		0257-82-4888
白山工房(織りの資料館)920-2501石川県白山市白峰村ヌ 1707619-手おりの里金剛苑529-1204滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 5140749-3織元田勇(田勇機業株式会社)629-3104京都府京丹後市網野町浅茂川 1120772-7		+		0258-83-4800
手おりの里金剛苑529-1204滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 5140749-3織元田勇(田勇機業株式会社)629-3104京都府京丹後市網野町浅茂川 1120772-7		+		07619-8-2859
織元田勇(田勇機業株式会社) 629-3104 京都府京丹後市網野町浅茂川 112 0772-7				0749-37-413
		+		
まずり 1010-0304 1分的対象の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の		-i		0772-72-0307
				075-882-0564
				0856-74-0784 0894-83-0640

統計資料目次

<	国内,	>		
	(1)	蚕糸絹業の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	31
	(2)	養蚕業の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	32
	(3)	養蚕農家数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	33
	(4)	収繭量の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	34
	(5)	都府県別養蚕農家数、桑使用面積、収繭量(2007年)・・・・・・	•	35
	(6)	蚕品種別蚕種製造数量(2007年)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	36
	(7)	生糸需給及び絹糸、絹織物の輸出入状況 ・・・・・・・・・・	•	37
	(8)	生糸生産数量の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	38
	(9)	生糸の繊度別生産数量の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	39
	(10)	生糸相場 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	40
	(11)	絹需給の推移(生糸量換算試算)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	41
	(12)	製糸工場の原料繭需給・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	42
	(13)	器械製糸工場の操業状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	43
	(14)	生糸在庫数量の内訳 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	44
	(15)	蚕糸関係品目別輸入状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・	•	45
	(16)	絹糸原産国別輸入状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	46
	(17)	織物の生産状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	47
	(18)	絹人繊織物製造業者の絹織物生産状況 ・・・・・・・・・・・	•	48
	(19)	丹後、長浜、西陣の絹織物生産状況 ・・・・・・・・・・・・	•	49
	(20)	全国全世帯消費支出 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	50
<	海外	>		
	(1)	世界主要国の家蚕繭生産数量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	51
	(2)	世界主要国の家蚕生糸生産数量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	52
	(3)	中国省別桑園面積、家蚕繭生産数量、生糸生産数量、製糸工場数 ••	•	53
	(4)	中国省別家蚕繭生産数量の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	54
	(5)	中国のシルク類(生糸、絹糸、絹織物)の輸出状況 ・・・・・・	•	55
	(6)	ブラジルの繭、生糸の生産数量の推移・・・・・・・・・・・・	•	56
	(7)	ブラジルの生糸 絹糸及び副番糸の内雲 輸出別販売状況 ・・・・・	•	57

(1)蚕糸絹業の概要 Outline of Sericultural, Silk-Reeling, and Silk Fabric Industry in Japan

	項目 item	Serio	養蚕業 ultural Ind	uetry	Silk-F	製糸業 Reeling Ind	uetry	絹 Silk Fabri	
年次 (暦年) Calendar year		養蚕農家 戸数 Number of Silk-Raising Farmer	収繭量 Cocoon Production	1戸当 収繭量 Cocoon Production per Farmer	生糸 生産量 Raw Silk Production	運転 工場数 Number of Mills	稼働率 Operation ratio	絹人繊織機 設備台数 (保有台数) Number of Silk Loom	絹織物 生産量 Silk Fabric Production
year		戸 Number	トン t	kg	千俵 1,000 Bale of 60kg	工場 Number	%	千台 1,000	千㎡ 1,000 sq.meters
昭和50年 1975		248, 400	91, 219	367	333. 9	123	87	311. 3	156, 494
55年 1980		165, 590	73, 061	441	267. 6	105	81	279. 2	143, 708
60年 1985		99, 710	47, 274	474	158. 6	67	87	212. 5	107, 499
平成3年 1991		44, 010	20, 821	473	91. 4	50	75	161. 7	76, 089
4年 1992		34, 880	15, 553	446	84. 1	49	75	148. 8	72, 901
5年 1993		27, 180	11, 212	412	70. 3	45	72	138. 1	66, 801
6年 1994		19, 040	7, 724	406	64. 5	39	69	102. 7	61, 653
7年 1995		13, 640	5, 350	392	53. 4	29	63	94. 2	54, 131
8年 1996		7, 890	3, 021	383	42. 7	26	58	84. 7	53, 815
9年 1997		6, 310	2, 516	399	31. 5	18	67	81.6	52, 031
10年 1998		5, 070	1, 980	390	18. 4	13	76	74. 5	38, 673
11年 1999		4, 030	1, 496	371	10. 8	8	73	67. 4	33, 425
12年 2000		3, 280	1, 244	379	9. 3	8	67	62. 9	32, 275
13年 2001		2, 730	1, 031	378	7. 2	8	63	56. 8	29, 801
14年 2002		2, 360	880	373	6. 5	7	68	51. 2	26, 826
15年 2003		2, 070	780	377	4. 8	6	64	48. 7	23, 935
16年 2004		1, 850	683	369	4. 4	5	62	45. 6	21, 895
17年 2005		1, 591	626	393	2. 5	2	62	43. 7	19, 816
18年 2006		1, 345	505	375	2. 0	2	83	41.6	18, 507
19年 2007		1, 169	433	370	1.8	2	83	40.0	15, 482
前年対比 2007/06		86. 9	85. 7	98. 9	90.0	100. 0	100. 0	96. 2	93. 4

資料 ・養蚕業及び製糸業は農林水産省生産局調査によるものである。

ただし、平成13年以前の養蚕業は農林水産省統計部調査である。

・絹業は経済産業省調査によるものである。 平成18年以降の絹織物生産量は、絹紡織物を含む。

(注) 製糸業の運転工場数及び稼働率は器械製糸工場の操業状況である。

Source: Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

(MAFF) (Sericultural and Silk-Reeling)

The Statistic Department, MAFF (Sericultural industry, before 2001)

The Ministry of Economy Trade and Industry (Silk Fabric)

Note: The number of operating mills and operation ratio are of machine reeling mills.

(2)養蚕業の概要

Outline of Sericultural Industry

項 目 Item	養蚕農家数	桑栽培面積	桑使用面積	蚕種 掃立卵量	1箱当り 収繭量	収繭量	1戸当り 栽培面積	1戸当り 掃立卵量	1戸当り 収繭量
	Farm house-	Growing	Harvested	Silk-worm	Cocoon production	Cocoon	Growing area of mulber-	Box of silk-worm eggs	Cocoon production
年 次 \	holds raising	area of	area of	eggs used	per box of silk-	production	ry per farm household	used per farm household	per farm household
Year	silk-worm	mulberry	mulberry		worm eggs used			raising silk-worm	I .
	戸			1000箱				箱	
	number	100ha	100ha	1, 000cases	kg	t	а	box	kg
1993	27, 200	425	239	319	35	11, 212	156	12	412
1994	19, 000	339	173	228	34	7, 724	178	12	406
1995	13, 600	263	117	155	35	5, 350	193	11	392
1996	7, 890	193	66	87	35	3, 021	244	11	382
1997	6, 310	138	54	74	34	2, 516	219	12	399
1998	5, 070	103	44	60	33	1, 980	203	12	390
1999	4, 030	74	33	45	33	1, 496	184	11	371
2000	3, 280	59	27	37	33	1, 244	179	11	379
2001	2, 730	48	23	31	34	1, 031	174	11	378
2002	2, 360	43	22	26	34	880	182	11	373
2003	2, 070	38	19	23	33	780	185	11	374
2004	1, 850	34	18	21	38	683	186	11	369
2005	1, 591	30	16	18	34	626	188	12	396
2006	1, 345	27	14	15	34	505	198	11	375
2007	1, 169	24	12	13	35	433	202	11	371
対前年比 2007/06(%)	86. 9	88. 9	85. 7	87. 2	103. 6	85. 7	102. 0	100.0	98. 9

資 料:農林水産省統計情報部調査(~2001年)、農林水産省生産局調査(2002年~)。

Source : The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Foreatry and Fisherises (\sim 2001) .

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2002 \sim) .

(3)養蚕農家数の推移

Farm households raising silk-worm

(単位:戸) (Unit:number)

項 目 年 次 Item Year	年 間 Annual total	春 蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晚秋蚕 Late autumn silk-worm
1993 1994 1995 1996 1997 1998 1999 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007	27, 180 19, 040 13, 640 7, 890 6, 310 5, 070 4, 030 3, 280 2, 730 2, 360 2, 070 1, 850 1, 591 1, 345 1, 169	24, 160 16, 790 12, 450 6, 980 5, 650 4, 550 3, 600 2, 970 2, 410 1, 992 1, 875 1, 621 1, 420 1, 215 1, 052	17, 450 13, 190 9, 560 5, 000 4, 420 3, 750 2, 710 2, 170 1, 870 1, 720 1, 503 1, 371 1, 061 852 726	20, 740 14, 790 9, 580 6, 290 5, 120 4, 120 3, 280 2, 700 2, 270 1, 918 1, 751 1, 551 1, 345 1, 102 988
対前年比 2007/06(%)	86. 9	86. 6	85. 2	89. 7

資料:農林水産省統計情報部調査(~2001年)、全国農業協同組合連合会調査(2002年~2004年、参考数値)、 農林水産省生産局調査(2005年~)。

 $Source \quad : The \ Statistics \ and \ Information \ Department, \\ Ministry \ of \ Agriculture, \\ For eatry \ and \ Fisherises (~2001) \, .$

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002 \sim 2004) .

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005 \sim) .

(4) 収繭量の推移

Cocoon Production

項目		年 Annual	計 total		Cocoon produc)収繭量 household rais	ing silk-worm	桑使用面積 10a当たり
年 次	年 間	春 蚕	初秋蚕	晩秋蚕	年 間	春 蚕	初秋蚕	晩秋蚕	収繭量(年間) Cocoon production
Year	Annual total	Spring silk-worm	early autumn silk-worm	Late autumn silk-worm	Annual total	Spring silk-worm	early autumn silk-worm		per farm harvested area of mulberry
	t	t	t	t	kg	kg	kg	kg	kg/10a
1993	11, 212	4, 624	3, 060	3, 529	412	191	175	170	47
1994	7, 724	3, 036	2, 044	2, 644	406	181	155	170	46
1995	5, 350	2, 222	1, 477	1, 651	392	178	155	172	46
1996	3, 021	1, 184	747	1, 090	382	170	149	173	46
1997	2, 516	982	678	857	398	174	153	167	46
1998	1, 980	769	588	623	390	169	157	151	45
1999	1, 496	596	391	509	371	166	144	155	46
2000	1, 244	500	320	424	379	169	148	157	47
2001	1, 031	391	275	365	378	162	147	161	47
2002	880	330	231	320	373	166	134	167	40
2003	775	313	210	253	374	167	140	144	40
2004	675	256	176	243	369	158	128	157	38
2005	626	243	165	218	396	171	156	162	40
2006	505	209	122	173	375	172	143	157	36
2007	433	175	110	148	371	166	152	150	37
対前年比 2007/06(%)	85. 7	83. 7	90. 2	85. 5	98. 9	96. 5	106. 3	95. 5	102. 8
構成比(%)	100.0	40. 4	25. 4	34. 2					

資料:農林水産省統計情報部調査(~2001年)、全国農業協同組合連合会調査(2002年~2004年,参考数値)、 農林水産省生産局調査(2005年~)。

Source : The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Foreatry and Fisherises (~2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002 \sim 2004) .

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005 \sim) .

(5)都府県別養蚕農家数・桑使用面積・収繭量(2007年)

Farm households rising silk-worm, Harvested area of mulberry and Cocoon production by prefectures in 2007

	項目		年 計		春	繭		火繭		火繭
`	\ Item	A	nnual tota	ıl	spring s	ilk-worm	Early autum	n silk-worm	late autumn	n silk-worm
県	別	養 蚕 農家数	桑使用 面 積	収繭量	養 蚕 農家数	収繭量	養 蚕 農家数	収繭量	養 蚕 農家数	収繭量
Each			Harvested area		Farm households	Cocoon	Farm households	Cocoon	Farm households	Cocoon
Pre	efecture	rising silk-worm	of mulberry	production	rising silk-worm	production	rising silk-worm	production	rising silk-worm	production
		number	ha	t	number	t	number	t	number	t
岩	手 lwate	34	32	11.8	24	2. 9	34	4. 5	34	4. 3
宮	城 Miyagi	41	42	12. 7	28	4. 5	27	4. 1	32	4. 2
山	形 Yamagata	19	26	7. 6	13	3. 1	13	1.6	17	2. 8
福	島 Fukushima	114	179	56. 6	98	19. 5	85	16. 4	100	20. 7
茨	城 Ibaragi	43	45	17. 9	41	7. 6	34	4. 6	36	5. 6
栃	木 Tochigi	53	100	40. 2	52	15. 6	34	8. 1	49	16.5
群	馬 Gunma	471	515	185. 6	439	78. 0	275	46. 9	429	60. 7
埼	玉 Saitama	114	92	38. 0	109	15. 5	81	9. 7	97	12.8
千	葉 Chiba	19	9	4. 2	18	1.8	8	1.1	12	1. 2
神系	≽川 Kanagawa	14		3.0	11	1.1	10	0. 6	14	1. 2
山	梨 Yamanashi	43	28	13. 3	36	6. 4	15	2. 4	33	4. 5
長	野 Nagano	54	34	15. 9	48	6. 3	42	4. 4	39	5. 3
岐	阜 Gifu	38	15	5. 3	30	2. 6	14	0.8	25	2. 0
徳	島 Tokushima	31	12	6.0	29	2. 9	17	1. 3	21	1.8
愛	媛 Ehime	22	20	8. 1	22	3. 0	18	2. 6	18	2. 5
熊	本 Kumamoto	15	7	2. 1	14	1. 4	9	0. 4	8	0.3
その	D他 Others	44	16	1.9	40	2. 8	10	0. 5	24	1. 7
	全国計 Total	1, 169	1, 172	433. 2	1, 052	175. 0	726	110. 0	988	148. 1

資 料:農林水産省生産局調査。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

(6) 蚕品種別蚕種製造数量(2007年)

Production by Sort of Silk-worm Eggs

	2006年夏		2007看	季 蚕用		秋蚕用	合	計
	for su autumn		for sprin	g reeling		mmer & reeling	Tot	tal
	箱 box	割合 rate	箱 box	割合 rate	箱 box	割合 rate	箱 box	割合 rate
錦 秋×鐘 和	3, 280	40. 3	1, 770	22. 1	2, 400	40. 1	7, 450	33. 6
錦 秋 1 号 × 鐘 和 1 号	2, 900	35. 6			2, 600	43. 5	5, 500	24. 8
春 嶺×鐘 月			1, 200	15. 0			1, 200	5. 4
春 嶺 1 号 × 鐘 月 1 号			2, 600	32. 4			2, 600	11. 7
ぐんま×200	1, 395	17. 1	1, 832	22. 8	480	8. 0	3, 707	16. 7
朝・日×つくば・ね			100	1. 2	500	8. 4	600	2. 7
世 · 紀 × 二 · -	86	1.1	67	0.8			153	0. 7
美 蓉 × つくば・ね	100	1. 2					100	0. 5
鐘 光 × 黄 玉								
ぐ ん ま 黄 金	16	0. 2	38	0. 5			54	0. 2
新 青 白			38	0. 5			38	0. 2
新 小 石 丸	283	3. 5	222	2. 8			505	2. 3
小 石 丸	3	0.0	18	0. 2			21	0. 1
かいりょう × あけぼの								
改良しんあけぼの								
蚕 太			22	0. 3			22	0. 1
上 州 絹 星	77	0. 9	118	1.5			195	0. 9
合 計 Total	8, 140	36. 8	8, 025	36. 2	5, 980	27. 0	22, 145	100. 0

料:農林水産省生産局調査。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

(7) 生糸需給及び絹糸、絹織物の輸出入状況

Raw Silk Supply and Demand Balance, Import/Export Balance of Silk Yarn and Silk Fabric

		生	糸 R	Raw Silk		絹	糸		織物
項目	生産数量	輸入数量	輸出数量	国内引渡	期末在庫	Silk	Yarn	Silk F	abrics
ltem			鞩山致里 	数量	数量	輸入数量	輸出数量	輸入数量	輸出数量
年 月 Year &	Produ- ction	Imports	Exports	Domestic Deliveries	Ending Stocks	Imports	Exports	Imports	Exports
Month	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(1)
暦 年	俵	俵	俵	俵	俵	俵	俵	1000SM	1000SM
			Bales of 60kg	I				10 040	C 040
2002 2003	6, 521	31, 702	1 510	37, 265	25, 955	28, 089	124	12, 248	6, 843
	4, 791	30, 827	1,510	34, 166	25, 897	33, 044	183	12, 544	7, 111
2004	4, 387	26, 008	12, 500	29, 585	14, 207	29, 774	331	13, 127	7, 274
2005	2, 508	22, 017	4, 125	26, 429	8, 178	32, 700	609	15, 999	8, 252
2006	1, 956	19, 974	_	20, 752	9, 356	31, 524	568	12, 964	7, 578
2007	1, 747	12, 601	_	15, 624	7, 879	19, 439	404	11, 355	7, 184
生糸年度									
Silk Year									
2002	5, 953	30, 510	l —	35, 462	26, 794	28, 150	154	11, 747	6, 986
2003	4, 517	30, 411	6, 635	33, 333	21, 754	33, 261	182	13, 036	7, 206
2004	3, 868	20, 154	11, 500	27, 002	7, 274	30, 204	565	14, 130	7, 286
2005	2, 024	26, 365	l —	25, 737	9, 926	36, 113	500	16, 121	8, 655
2006	1, 794	13, 394	l —	16, 873	8, 241	21, 561	534	10, 730	7, 152
2007	1, 762	15, 564	_	20, 286	5, 281	22, 936	433	12, 255	6, 087
2007 – 6	147	1, 241	_	1, 558	8, 071	1, 711	38	969	626
7	146	861	l —	1, 129	7, 949	1, 872	12	962	555
8	136	1, 277	l —	1, 169	8, 193	1, 774	31	975	567
9	151	1, 262	l —	1, 569	8, 037	1, 935	55	987	563
10	153	1, 438	l —	1, 397	8, 231	2, 222	57	1, 011	604
11	150	1, 357	l —	1, 320	8, 418	1, 989	42	1, 121	586
12	146	885	l —	1, 369	8, 080	1, 667	21	1, 125	721
2008 - 1	130	918	_	1, 249	7, 879	2, 021	8	1, 295	416
2	135	787	_	1, 487	7, 314	1, 769	18	770	670
3	153	1, 459	_	1, 415	7, 511	1, 689	33	865	685
4	160	505	_	3, 444	4, 732	2, 220	45	1, 107	644
5	155	3, 574	-	3, 180	5, 281	2, 067	73	1, 068	577
6	136	1, 362	-	1, 603	5, 176	2, 087	109	1, 150	608
7	137	1, 517	_	1, 527	5, 303	2, 459	26	1, 147	541
2008. 1~7	1, 006	10, 122		13, 905	5, 303	14, 312	312	7, 402	4, 141
2007.1~7	1, 011	6, 382	_	8, 800	7, 949	9, 853	199	6, 136	4, 142
2008. 6~7	273	2, 879		3, 130	5, 303	4, 546	135	2, 297	1, 149
2008. 6~7	293	2, 102	_	2, 687	7, 949	3, 583	50	1, 931	1, 181

資料: (A)(C)(D)(E)農林水産省生産局調査。(B)財務省関税局調査、ただし96年1月から08年3月までの輸入は、農畜産業振興機構調査の実需者輸入分と一般者輸入分を合わせた数値。(F)(G)(H)(I)財務省関税局調査。

備 考: 1. 国内引渡数量(D)= {前月在庫数量+(A)+(B)} - {(C)+(E)}。

2. kgを60kg俵に換算しているので、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

 $Source \quad : \ (A) \ (C) \ (D) \ (E) \ The \ Agricultural \ Production \ Bureau, \\ Ministry \ of \ Agriculture, \\ Forestry \ and \ Fisheries.$

(B) The Customs Bureau, Ministry of Finance. But the figures for law silk imports have been based on date of the Agriculture & Livestock Industries Corporation since Jan. 1996 until Mar. 2008, excluding bonded silk.

(F) (G) (H) (I) TheCustoms Bureau, Ministry of Finance.

 $Remarks : 1. Domestic \ deliveries (D) = \{Stock \ at \ end \ of \ the \ previous \ month + (A) + (B) \} - \{(C) + (E) \}.$

 $2.\,\mbox{Monthly}$ volume may not add up the total volume due to round off.

(8) 生糸生産数量の推移

Production of Raw Silk

(単位:60kg俵)

(Unit: Bales of 60kg)

項目			糸 及 び 玉 ; Ik and Doupion S	糸 i lk	
Item		器械製糸	国用製糸 及び	器械玉糸	繭品質評価機関
年 月	計	Machine	Domestic	Machine	Cocoon Quality
Year &	Total	Reeling	Raw Silk &	Reeling	Grading
Month		Mills	Reelers	Mills	Stations
暦 年					
Calendar Year					
2002	6, 521	5, 617	904		
2003	4, 791	4, 000	791		
2004	4, 387	3, 634	753		
2005	2, 508	1, 735	773		
2006	1, 956	1, 417	539		
2007	1, 747	1, 227	520		
生糸年度					
Silk Year					
2002	5, 953	5, 128	825		
2003	4, 517	3, 735	782		
2004	3, 868	3, 110	758		
2005	2, 024	1, 329	695		
2006	1, 794	1, 285	509		
2007	1, 762	1, 231	531		
2007 – 6	147	104	43		
7	146	101	45		
8	136	94	42		
9	151	108	43		
10	153	105	48		
11	150	103	47		
12	146	102	44		
2008 – 1	130	91	39		
2	135	91	44		••
3	153	105	48		••
4	160	115	45		••
5	155	112	43		••
6	136	106	30		
7	137	108	29		• •
2008. 1~7	1, 006	728	278		
2007. 1~7	1, 011	715	296		
2008. 6~7	273	214	59		
2007. 6 ~ 7	293	205	88		

資 料:農林水産省生産局調査。

備 考:1.生糸年度は6月から翌年5月までである。

2. kgを60kg俵に換算しているので、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

Remarks : 1. Silk year ranges from June to May of the following year.

2. Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(9) 生糸の繊度別生産数量の推移

Raw Silk Production by Sizes

(単位:60kg俵)

(Unit: Bales of 60kg)

K					it. Daies (
項 目 Item		生 糸 Raw Silk							
年 月 Year &	計 Total	18Denier以下 or finer 17/19	21Denier 20/22	27Denier 26/28	31Denier 30/32	その他 Others			
Month		17/19							
暦 年									
Calendar Year									
2002	6, 521	3	429	3, 178	1, 937	975			
2003	4, 791	13	343	2, 865	1, 038	533			
2004	4, 387	2	471	2, 389	948	581			
2005	2, 508	8	337	834	799	527			
2006	1, 956	4	240	531	653	523			
2007	1, 747	5	259	495	514	474			
生糸年度									
Silk Year									
2002	5, 953	8	316	3, 273	1, 649	706			
2003	4, 517	7	334	2, 689	955	530			
2004	3, 868	4	482	1, 845	918	622			
2005	2, 024	6	261	510	726	518			
2006	1, 794	4	269	480	562	475			
2007	1, 762	5	276	443	495	537			
2007 — 6	147	_	11	43	43	49			
7	146	_	39	36	36	34			
8	136	_	26	41	45	23			
9	151	_	14	54	39	45			
10	153	_	14	55	60	24			
11	150	_	29	36	36	48			
12	146	1	13	38	42	52			
2008 — 1	130	_	14	26	40	50			
2	135	4	31	10	33	57			
3	153	_	29	29	47	46			
4	160	_	35	35	36	53			
5	155	_	21	40	38	56			
6	136	_	19	44	33	40			
7	137	_	22	40	26	49			
2008. 1~7	1, 006	4	171	224	253	351			
2007. 1 ~ 7	1, 011	_	163	271	292	282			

資 料:農林水産省生産局調査。

備考:kgを60kg俵に換算しているので、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

Remarks : Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(10)生糸相場

Raw Silk Quotations

1 東京穀物商品取引所(生糸先物取引)

The Tokyo Grain Exchange (Raw Silk Futures Trading)

(1) 商況 State of Market

8月:月初1日は、見送られて値付けバイカイで始まり、8月限が月中の最低値段3,299円を記録した。25日には小口の買いに12・1月限が月中の最高値段3,540円を記録するとともにストップ高を付ける等急伸した。26日の当月限納会日は前日と同値の3,299円と平穏に納まり、受渡しは無しとなった。翌27日の新甫2月限は同鞘の3,540円で発会して今月を終わった。

9月:月初1日は、見送られてバイカイで始まり、12月限から2月限が月中の最高値段3,540円を記録した。その後も値付けバイカイに始終した。25日の当月限納会は前日同値の3,400円と平穏に納まり、受渡枚数は無しとなった。26日の新甫3月限は同鞘の3,540円で発会した。30日には小口の売りに2・3月限が月中の最低値段3,261円を記録するとともにストップ安を付けて今月を終わった。

(2) 先物約定値段 Monthly Prices of Futures Contracts Traded

(Unit:JPY/kg)

単位:円/kg

							+ 12 · 1 · 1/2 · 1/2
	限月	始值	高値	(日)	安値	(日)	終値
	8 月限	3,299	3,299	(1)	3,299	(1)	3,299
	9 月限	3,400	3,400	(1)	3,400	(1)	3,400
	10 月限	3,400	3,400	(1)	3,400	(1)	3,400
8月中	11 月限	3,400	3,400	(1)	3,400	(1)	3,400
	12 月限	3,400	3,540	(25)	3,400	(1)	3,540
	1 月限	3,400	3,540	(25)	3,400	(1)	3,540
	2 月限	3,540	3,540	(27)	3,540	(27)	3,540

	限月	始值	高値	(日)	安値	(日)	終値
	9 月限	3,400	3,400	(1)	3,400	(1)	3,400
	10 月限	3,400	3,400	(1)	3,400	(1)	3,400
	11 月限	3,400	3,400	(1)	3,400	(1)	3,400
9月中	12 月限	3,540	3,540	(1)	3,400	(30)	3,400
	1 月限	3,540	3,540	(1)	3,400	(30)	3,400
	2 月限	3,540	3,540	(1)	3,261	(30)	3,261
	3 月限	3,540	3,540	(26)	3,261	(30)	3,261

(3)出来高合計及び一日平均出来高 Total Trading Volume and Daily Average Volume

単位:枚/60 kg

	出来高合計	一日平均
8 月中	251	12
9 月中	239	12

(4) 受渡高 Delivery

単位: 枚/300 kg

	早受渡	期日受渡	計
8月中	0	0	0
9 月中	0	0	0

2 現物標準値の推移 Standard Price of Raw Silk

単位:円/kg (Unit:JPY/kg)

		+12.	1 1 / 1/8 (Ollic.Ol 1/1/8/						
	東京市場 Tokyo Exchange Market								
	最高 High	最低 Low	平均 Average						
平成 20 年 8 月	3,390	3,300	3,309						
平成 20 年 9 月	3,400	3,400	3,400						

資料:(社)日本生糸問屋協会 Source:Japan Raw Silk Dealers Association

(11) 絹需給の推移(生糸量換算試算)

Silk Supply and Demand Balance (Raw Silk Value Estimation)

(単位:千俵)

(Unit: 1,000Bales of 60kg)

項目			供給	計 Sup	ply Tota	1 1				需	要計 De	mand Tot	al 2=1)-(4)		期末
Item		期初	生産		輸		ort				輸		ort		内 需	在庫
暦年 Calendar Year		在庫 Opening Stocks	Produc- tion	計 Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second		計③ Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second	Domestic Demand 2-3	Ending Stocks ④
1990	462	164	95	203	35	16	59	93	290	13	_	0	9	4	277	172
1991	494	172	92	230	46	29	62	93	327	11	0	0	7	4	316	167
1992	460	167	85	208	26	21	60	101	308	11	_	0	7	4	297	152
1993	483	152	71	260	25	38	65	132	345	11	_	0	7	4	334	138
1994	525	138	65	322	26	37	64	195	390	10	_	0	7	3	380	135
1995	515	135	54	326	30	31	61	204	377	11	0	1	8	2	366	138
1996	507	138	43	326	35	49	62	180	374	13	0	0	9	4	361	133
1997	401	133	32	236	34	35	43	124	270	14	0	0	11	3	256	131
1998	345	131	18	196	28	23	28	117	222	13	0	0	11	2	209	123
1999	361	123	11	227	41	28	31	127	242	13	0	0	11	2	229	119
2000	376	119	9	248	39	32	28	149	263	16	0	0	14	2	247	113
2001	350	113	7	230	30	23	25	152	237	17	0	0	15	2	220	113
2002	366	113	7	246	32	28	24	162	261	18	0	0	16	2	243	105
2003	361	105	5	251	31	33	25	162	261	20	2	0	17	1	241	100
2004	353	100	4	249	26	30	25	168	268	30	11	0	18	1	238	85
2005	354	85	3	266	22	33	30	181	270	27	4	1	21	1	243	84
2006	334	84	2	248	20	32	24	172	257	22	0	1	20	1	235	77
2007	293	77	2	214	13	19	21	161	222	21	0	1	18	2	201	71
対前年比 2007/06(%)	87. 7	91.7	100. 0	86. 3	65. 0	59. 4	87. 5	93. 6	86. 4	95. 5	_	100. 0	90. 0	200. 0	85. 5	92. 2

資料: 蚕糸業需給・価格動向隔月報・繊維統計月報・日本貿易月報より、農林水産省生産局がとりまとめたものである。 ただし、2000年以降は農林水産省生産局の協力により、日本生糸問屋協会が試算推計したものである。

Source : "Silk balance and price situation monthly", "Trade Statistics" (arranged by Agricultural Production Bureau, MAFF)

After 2000, estimated by Raw Silk Dealer's Association through colaboration with Agricultural Production Bureau,

MAFF

(12) 製糸工場の原料繭需給

Balance of Cocoons as Raw Materials by Reeling Mills

(単位:生繭. t)

(Unit: Ton by fresh weight)

項 目 Item		総 計 Grand Total			、器械製糸 nine Reeling M	工場
年 月 Year & Month	受入数量 Receipts	消費数量 Put in Process	期末在庫数量 Ending Stocks	受入数量 Receipts	消費数量 Put in Process	期末在庫数量 Ending Stocks
暦 年						
Calendar Year						
2002	1, 559	2, 150	775	1, 366	1, 822	708
2003	1, 598	1, 612	761	1, 302	1, 330	679
2004	1, 291	1, 500	553	1, 039	1, 228	489
2005	866	830	589	540	552	478
2006	600	646	541	405	445	436
2007	548	581	505	345	390	391
生糸年度 Silk Year						
2002	1, 921	1, 972	525	1, 764	1, 674	480
2003	1, 477	1, 554	448	1, 162	1, 273	368
2004	1, 056	1, 280	224	794	1, 008	154
2005	839	673	390	531	419	266
2006	562	599	349	405	410	260
2007	502	583	266	344	388	215
0007	4.0	F.0	0.10		0.4	200
2007 — 6	16	50	316	11	34	238
7	131	49	398	130	32	335
8	110	44	464	61	29	368
9 10	35	50	448 533	33	34	366
10	135 3	50 50	486	120 3	32 33	454 424
12	68	48	505	-1	32	391
	-1	43	461	-1 -1	32 29	361
2008 — 1 2	-1 -2	43	416	-1 -2	29 28	332
3	-2 -8	52	356	-2 -9	34	288
4	-o 14	52 51	319	-9 0	35 35	253
5	14	52	266	-1	36	215
6	49	44	272	9	33	191
7	117	45	343	104	34	260
2008. 1~7	170	331	343	100	229	260
2007. 1 ~ 7	197	339	398	129	230	335

資料:農林水産省生産局調査。

備 考:1.本表は上繭及び玉屑繭の合計である。

- 2. 総計は器械製糸、国用製糸、繭品質評価機関及び玉糸製糸の合計である。なお国用製糸及び玉糸製糸は乾繭重量調査のため、乾繭歩合42%にて生繭重量に換算した。
- 3. 受入数量=本月末在庫数量+消費数量-前月末在庫数量。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

Remarks : 1. This table includes reelable, doupion and waste cocoons.

- 2. The grand total includes the material cocoons at the machine-reeling mills, reelers of raw silk for domestic use, cocoon quality appraisal stations and doupion silk producers.
 - In addition, reelers of raw silk for domestic use and doupion silk producers reported in dry cocoon weight, which was converted into fresh by dividing by 42%.
- 3. Receipts=(Ending stocks of the current month)+(put in process)-(Ending stocks of the preceding month).

(13) 器械製糸工場の操業状況

Activities of Machine Reeling Mills

項 目 Item	運転工場数	設 (i Reeling	⋕ 数 Machines	運 転 率 (%)	操業日数	従業者数
年 月	Operating	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	V= +=		Days	Number
Year &	Reeling	運転可能 Operable	運 転 Operating	Operating		of
Month	Mills	oper ab re	operating	Ratio	Operated	Workers
 暦 年						
Calendar Year						
2002	7	607	414	68	290	207
2003	6	444	285	64	290	173
2004	5	426	262	62	292	165
2005	2	203	126	62	269	83
2006	2	114	94	82	266	59
2007	2	112	93	83	266	57
2007 — 2	2	112	93	83	21	60
3	2	112	94	84	23	60
4	2	112	93	83	23	56
5	2	112	94	84	22	55
6	2	112	92	82	23	55
7	2	112	89	79	23	55
8	2	112	92	82	21	55
9	2	112	89	79	22	56
10	2	112	92	82	24	60
11	2	112	96	86	22	58
12	2	112	94	84	22	57
2008 — 1	2	112	95	85	20	58
2	2	112	94	84	22	57
3	2	112	96	86	22	58
4	2	112	100	89	23	60
5	2	112	100	89	22	60
6	2	112	95	85	23	60
7 次 炒 曲 + + + + + + + + + + + + + + + + + +	2	112	92	82	23	60

資 料:農林水産省生産局調査。

備 考:1.設備数中の運転可能及び運転台数は毎月の算術平均である。

2. 運転率は運転可能台数に対する運転台数の比率である。

3. 従業者数は期末現在の在籍従業員数である。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

Remarks : 1. The number of operable and operating reeling machines is arithmetic means of monthly figures.

- 2. Operating ratio means ratio of operating machines in operable machines.
- 3. Number of workers are those on payroll as of end of period.

(14) 生糸在庫数量の内訳

Breakdown of Raw Silk Stocks

(単位:60kg俵)

(Unit: Bales of 60kg)

項目			– Sto	般 在 ck in mark	庫 (ets		Stock of A	畜産業振興板 griculture &	& Livestock
Item	総計					11 - 22 + A 111		ries Corpo	ration
年月	Grand	計	製糸工場	生糸市場 売買業者	生糸市場外 売買業者	入業者	受 数 量	引 渡数 量	在庫数量
Year & Month	Total	Total	Filatures Mills	Dealers	Domestic Dealers	Ex and Importers	Accepts	Deliveries	Ending Stocks
暦 年									
Calendar Year	05 055	г 000	1 050	COF	0 770	107	01 700	01 000	00 000
2002 2003	25, 955	5, 932	1, 358	605	3, 772	197	31, 702	31, 809	20, 023
2003	25, 897 14, 207	8, 001 10, 082	1, 663 2, 055	235 183	5, 784 7, 360	319 484	30, 827 26, 008	32, 954 39, 779	17, 896 4, 125
2004	8, 178	8, 178	721	139	7, 300	310	20,008	26, 142	4, 120
2005	9, 356	9, 356	446	50	8, 606	254	19, 974	19, 974	
2007	8, 080	8, 080	359	20	7, 358	343	12, 601	12, 601	_
生糸年度							·		
Silk Year									
2002	26, 794	6, 771	1, 837	445	4, 207	282	30, 510	30, 617	20, 023
2003	21, 754	9, 163	1, 842	560	6, 516	245	30, 411	37, 843	12, 591
2004 2005	7, 274 9, 926	7, 274 9, 926	1, 636 373	50 170	5, 170	418	20, 154 26, 365	32, 745 26, 365	_
2005	9, 926 8, 241	9, 926 8, 241	473	170 20	8, 923 7, 564	460 184	13, 394	13, 394	_
2000	5, 281	5, 281	305	15	4, 241	720	15, 594	10, 394	
					.,	,			
20007 — 6	8, 071	8, 071	472	20	7, 453	126	1, 241	1, 241	_
7	7, 949	7, 949	451	15	7, 240	243	861	861	_
8	8, 193	8, 193	436	30	7, 382	345	1, 277	1, 277	_
9	8, 037	8, 037	415	10	7, 243	369	1, 262	1, 262	_
10	8, 231	8, 231	383	15	7, 501	332	1, 438	1, 438	_
11	8, 418	8, 418	366 359	15	7, 724	313	1, 357	1, 357	_
2008 — 1	8, 080 7, 879	8, 080 7, 879	359	20 15	7, 358 7, 193	343 321	885 918	885 918	_
2006 — 1	7, 314	7, 879	327	10	6, 607	370	787	787	
3	7, 514	7, 514	321	15	6, 774	401	1, 459	1, 459	
4	4, 732	4, 732	310	15	3, 664	743	1, 100	1, 100	
5	5, 281	5, 281	305	15	4, 241	720			
6	4, 732	4, 732	310	15	3, 664	743			
7	5, 281	5, 281	305	15	4, 241	720			

料:農林水産省生産局調査。 資

考:製糸工場は器械製糸、国用製糸、繭品質評価機関及び玉糸製糸の合計である。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

Remarks : Figures for filatures are the sum total of the closing stocks in machine-reeling filatures, reelers of raw silk for domestic use, cocoon quality appraisal stations and doupion reelers.

(15)蚕糸関係品目別輸入状況(平成15年~20年7月) Breakdown of Silk-Related Products Imports (2003~July 2008)

	単位	平成20	0年(2008)	平成19年	平成18年	平成17年	平成16年	平成15年	19年/18年
	Unit	(7月) July	(累計) Accumulated Total	(2007)	(2006)	(2005)	(2004)	(2003)	2007/06 (%)
生糸·玉糸計 Raw Silk and Doupion Silk	俵 Bales of 60kg	1,517	10,122	12,857.9	21,147.8	22,915.1	25,418.8	31,379.9	60.8
絹糸 Silk Yarn	俵 Bales of 60kg	2,459	14,312	19,439.2	31,524.4	32,699.5	29,744.5	33,043.6	61.7
野蚕糸 Wild Raw Silk	俵 Bales of 60kg	2.0	217.4	333.4	429.9	520.0	933.6	1,109.1	77.6
繭 Cocoon	kg	0	0	13,750	18,565	16,300	203,604	258,285	74.1
真 綿 Floss Silk	kg	4,900	21,777	28,660	34,176	45,186	25,320	55,969	83.9
ペ = − Peigne	kg	0	90	6,336	19,760	15,068	14,952	7,308	32.1
く ず 繭 Waste Cocoon	kg	300	6,859	17,184	1,020	3,650	6,797	3,540	1,684.7
絹 ノ イ ル Silk Noil	kg	19,460	123,350	242,082	234,894	216,422	293,373	231,277	103.1
その他の絹くず Other Silk Waste	kg	23,445	131,533	238,507	255,951	319,072	267,341	346,689	93.2
絹のくず計 Silk Waste Total	kg	48,105	283,609	532,769	545,801	878,398	607,783	584,783	97.6
絹紡糸 Spun silk yarn from silk waste other than noil	kg	58,050	329,500	608,270	756,065	847,200	781,454	832,514	80.5
編紡紬糸 Spun silk yarn from noil silk	kg	28,194	102,414	117,265	208,913	202,901	244,557	260,508	56.1
絹織物 Silk Fabrics	m [*]	1,146,830	7,401,034	10,381,266	11,859,929	14,782,915	10,823,074	10,373,703	87.5

資料:財務省関税局

Source: The Customs Bureau, Ministry of Finance

(16) 絹糸の原産国別輸入数量

Silk Yarn Imports

(単位:60kg俵) (Unit: Bales of 60kg)

						\-	iii C. Dai Co	
国名 年月 Country Year & Month	計 Total	韓 国 S Korea	中 国 China	ベトナム Vietnam	イタリア Italy	アメリカ USA	ブラジル Brazil	その他 Others
暦 年								
Calendar Year								
2005	32, 700	292	18, 977	7, 550	7		5, 867	6
2006	31, 524	94	17, 019	8, 706	27	_	5, 675	3
2007	19, 439	21	11, 726	4, 743	12	1	2, 930	7
	10, 100		11,720	1, 710			2,000	,
生糸年度 Silk Year								
2005	36, 113	143	21, 337	8, 983	18		5, 621	8
2006	21, 561	78	11, 212	5, 3 65	18	1	4, 518	3
2007	21, 301	70	13, 263	6, 344	15		3, 297	10
		,						10
2007 — 2	997	— I	634	245	2	_	116	_
3	936	_	512	167	_	1	256	_
4	1, 317	21	783	398	1	_	116	_
5	1, 667	_	1, 119	267	0	_	280	_
6	1, 711	_	1, 134	409	4	_	164	_
7	1, 872	_	1, 153	487	1	_	231	_
8	1, 774	_	1, 154	466	1	_	154	0
9	1, 935	_	1, 239	520	_	_	176	_
10	2, 222	— I	1, 224	638	1	_	358	<u> </u>
11	1, 989	— I	1, 136	567	2	_	281	4
12	1, 667	_	930	371	0.4	_	365	_
2008 — 1	2, 021	— I	1, 236	447	0	_	338	0
2 3	1, 769	_	853	746	0	_	170	0
$\frac{3}{4}$	1, 689	7	871	418	1.0	_	390	2 2
4	2, 220	— I	1, 187	660	5	_	366	2
5	2, 067	_	1, 146	615	_	_	304	2
6 7	2, 087	23	1, 302	600	_	_	161	1
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	2, 459	<u> </u>	1, 502	555	2	_	400	
2008. 1~7 2007. 1~7	14, 312	30	8, 097	4, 041	8		2, 129	7
2007. I∼7	9, 853	21	6, 043	2, 182	8	1	1, 595	3

資 料:財務省関税局調査。

考:kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。

Source : The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks : Country volume may not add up the total volume due to round off.

(17)織物生産数量

Fabric Production

(単位:1,000㎡)

 $(Unit: 1,000 sq.\,meters.)$

項 年 月 lt	目 tem	計	綿織物	絹織物	絹紡織物	合成繊維 織物	人絹織物 Rayon Filament	ビスコース スフ織物	毛織物	麻織物
Year&		Total	Cotton	Silk	Spun Silk	Synthetic	and Acetate	Viscose sta-	Wool	Bast Fiber
Month	\searrow		Fabrics	Fabrics	Fabrics	FiberFabrics	Fabrics	ple fabrics	Fabrics	Fabrics
暦 年										
Calendar Yea	ar I									
2002		2, 162, 818	539, 764	26, 824	1, 054	1, 292, 617	69, 544	141, 816	88, 114	3, 085
2003		2, 031, 053	506, 696	23, 940	728	1, 217, 413	71, 711	129, 178	78, 071	3, 318
2004		1, 974, 731	479, 246	21, 970	753	1, 209, 640	67, 540	116, 294	75, 662	3, 326
2005		1, 837, 703	425, 460	19, 816	579	1, 146, 845	66, 231	101, 235	72, 531	5, 006
2006		1, 739, 863	399, 776	17, 125	1, 381	1, 085, 577	64, 475	95, 921	71, 007	4, 600
2007		1, 699, 291	367, 733	14, 262	1, 204	1, 096, 107	63, 714	85, 308	67, 590	3, 372
2007 —	2	142, 640	32, 550	1, 238	96	89, 908	5, 223	8, 030	5, 356	240
	3	146, 310	32, 627	1, 251	96	92, 850	5, 408	8, 091	5, 476	510
	4	143, 211	31, 386	1, 241	95	91, 268	5, 240	7, 960	5, 640	382
	5	139, 291	31, 264	1, 150	95	89, 177	5, 183	6, 262	5, 912	247
	6	143, 181	31, 427	1, 275	98	91, 959	5, 338	6, 963	5, 922	200
	7	145, 873	31, 229	1, 200	97	94, 825	5, 438	6, 909	5, 958	217
	8	135, 738	28, 823	1, 036	93	88, 065	5, 167	6, 445	5, 949	161
	9	138, 732	28, 451	1, 209	125	91, 069	5, 191	6, 904	5, 591	192
	10	145, 544	29, 580	1, 181	111	96, 040	5, 567	6, 863	5, 974	228
	11	143, 797	29, 178	1, 217	98	94, 956	5, 419	6, 924	5, 748	257
	12	141, 698	29, 412	1, 196	101	93, 350	5, 368	6, 652	5, 184	436
2008 —	1	133, 497	26, 858	992	103	89, 170	5, 072	6, 129	4, 844	330
•	2	140, 032	28, 237	1, 193	97	92, 787	5, 473	7, 220	4, 799	225
	3	142, 113	28, 482	1, 160	99	94, 979	5, 522	6, 804	4, 861	207
	4	140, 452	28, 121	1, 093	96	93, 616	5, 555	6, 518	5, 100	351
	5	130, 825	27, 538	1, 097	98	84, 908	5, 252	6, 585	5, 099	249
	6	127, 911	27, 550	1, 081	95	81, 300	5, 341	6, 765	5, 552	226
	7	132, 071	27, 348	1, 155	101	85, 497	5, 301	6, 916	5, 548	205
2008. 1~7		946, 901	194, 134	7, 771	689	622, 257	37, 516	46, 937	35, 803	1, 793
2007. 1~7	<u> </u>	998, 608	160, 207	8, 438	677	636, 451	36, 961	51, 702	39, 419	2, 098

資 料:経済産業省調査。備 考:交織を含む。

Source : The Ministry of Economy Trade and Industry.

Remarks : Mixed fabrics included.

(18) 絹人絹織物製造業者の絹織物生産数量

(単位:1,000㎡) (Unit: 1,000sq.meters)

	品 種		絹・絹紡織物 Silk and Spun Silk Fabrics								
	Type of	総数	広		Double Wid		小巾箱		le Width	その他の	
	Fabrics	, -				先 練			先 練	後練(後染)	
年 月		Grand	計	羽二重類	クレープ類	(先染)	計	ちりめん類	(先染)	Other Piece	
Year &		Total	Total	Habutae	Crepe	Dyed	Total	Silk crape	Dyed	Dyed Silk	
Month					·	Yarn			Yarn	Fabrics	
暦 年	-										
rain H Calendar											
2002	Ital	26, 715	10, 277	4, 355	3, 251	2, 673	11, 855	8, 030	3, 824	4, 582	
2002		23, 822	8, 371	3, 800	2, 464	2, 073	11, 399	7, 653	3, 747	4, 053	
2003		21, 859	7, 540	3, 510	2, 404 2, 190	1, 842	10, 809	7, 346	3, 463	3, 509	
2004		19, 698	6, 664	2, 965	1, 903	1, 842	10, 309	6, 900	3, 403	2, 852	
2006		18, 153	6, 104	2, 734	1, 728	1, 646	9, 194	5, 882	3, 312	2, 855	
2007		15, 182	5, 214	2, 276	1, 720	1, 392	7, 575	4, 578	2, 997	2, 392	
2007		10, 102	0, 214	2, 210	1, 047	1, 002	7,070	4,070	2, 337	2, 002	
2007 -	_ 2	1, 312	427	193	123	111	679	422	256	206	
2007	3	1, 329	449	200	133	115	658	394	264	222	
	4	1, 317	443	198	125	120	664	409	256	210	
	5	1, 225	440	192	124	124	585	337	248	200	
	6	1, 354	461	194	139	129	683	428	255	210	
	7	1, 276	445	186	138	121	647	391	256	184	
	8	1, 108	392	169	124	99	554	315	239	162	
	9	1, 286	427	187	134	106	661	423	238	197	
	10	1, 262	423	189	122	111	629	377	252	210	
	11	1, 297	451	191	132	127	645	399	245	201	
	12	1, 274	435	187	136	112	639	400	238	200	
2008 -	_ 1	1,070	394	180	114	100	501	270	231	175	
	2	1, 269	422	183	129	110	644	407	237	203	
	3	1, 241	419	184	125	110	634	402	232	188	
	4	1, 171	419	189	122	108	585	360	225	167	
	5 6	1, 176	421	187	121	113	579	353	226	176	
	6	1, 240	429	190	125	114	630	403	227	181	
	7	1, 157	400	177	113	110	562	343	219	195	
	3. 1 ~ 7	8, 324	2, 904	1, 290	849	765	4, 135	2, 538	1, 597	1, 285	
2007	′. 1 ~ 7	8, 971	3, 085	1, 351	1, 248	837	4, 463	2, 666	1, 797	1, 423	

料:経済産業省調査。 資 考:単位以下四捨五入。

Source : The Ministry of Economy Trade and Industry.

Remarks : Fractions of 0.5 and over counted as a whole number and the rest disregarded.

(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産高 Production of Silk Fabrics in Tango , Nagahama and Nishijin

項	目 em		製造業者の 生産数量	丹後	Tango	長 浜	Nagahama	西陣	Nishijin
\ '''	CIII		abrics	(白名	上 地)	(白)	上地)	(±	帯)
			ction		Fabrics)	(White F			sh)
		数 量	前年(月)比	生産数量	前年(月)比	生産数量	前年(月)比	推定出荷数量	
年月		Quantity	Ratio to	Production	Ratio to	Production	Ratio to	Estimated	Ratio to
Year &		(千㎡)	previous	(反)	previous	(反)	previous	Shipments	previous
Month		(1, 000m²)	year	(Roll)	year	(Roll)	year	(本)	year
暦 年			,	, ,	,	, ,		,,,,	,
眉 井 Calendar Year									
2002		26, 715	89. 6	1, 179, 219	95. 1	229, 272	83. 7	998, 239	79. 1
2002		23, 822	89. 2	1, 179, 219	99. 3	208, 660	91. 0	922, 533	92. 4
2003		21, 859	91.8	1, 171, 143	95. 6	189, 426	90.8	780, 082	84. 6
2004		19, 698	90. 1	1, 119, 697	94. 5	170, 061	89. 8	691, 780	88. 7
2006		18, 153	92. 2	912, 027	86. 2	132, 448	77. 9	598, 040	86. 4
2007		15, 182	83. 6	712, 560	78. 1	97, 204	73. 4	977, 719	163. 5
2007		10, 102	00.0	712, 000	70. 1	37, 204	70. 4	377, 713	100.0
0007	,	1 010	00.0	CF 70F	70 5	0 007	C4 F	100 001	170 5
2007 — 2		1, 312	80.0	65, 785	72. 5	8, 987	64. 5	108, 331	173. 5
	3	1, 329	78.0	58, 873	64. 9	9, 660	68. 0	80, 785	150. 1
2		1, 317	79. 2	62, 535	70. 1	8, 840	63. 1 56. 3	84, 654	142. 4
		1, 225 1, 354	79. 6 82. 4	50, 444 69, 024	66. 2 77. 2	7, 760 7, 169	70. 0	71, 255 84, 513	139. 4 180. 8
		1, 35 4 1, 276	83. 3	61, 873	80. 3	7, 109	69. 3	88, 894	160. 6
8		1, 270	82. 2	47, 776	81. 9	6, 078	68. 9	89, 497	211. 9
		1, 106	87. 4	69, 062	92. 9	8, 439	111. 1	70, 350	203. 0
		1, 260	87. 4 87. 5	58, 668	92. 9 84. 8	9, 400	100. 7	60, 982	203. 0 161. 7
i		1, 202	94. 5	63, 195	97. 0	8, 207	93. 1	78, 005	154. 9
		1, 297	93. 0	62, 144	89. 7	8, 097	89. 9	67, 462	144. 6
2008 —		1, 274	92. 4	38, 929	90. 2	7, 511	102. 5	56, 667	60. 9
2000 —		1, 269	96. 7	65, 845	100. 1	7, 311	81. 1	93, 343	86. 2
		1, 241	93. 4	65, 402	111. 1	7, 250	82. 4	78, 494	97. 2
		1, 171	88. 9	57, 356	91. 7	7, 964	90. 1	74, 391	87. 8
		1, 176	96.0	55, 793	110. 6	6, 381	82. 2	67, 669	95. 0
		1, 240	91.6	65, 862	95. 4	9, 352	130. 5	57, 541	68. 1
]		1, 157	90. 7	53, 644	86. 7	7, 548	104. 3	84, 867	95. 5
		998	90. 1	46, 770	97. 9	,,	,	, /	
2008. 1~7		8, 424	93. 9	402, 831	97. 8	32, 089	104. 4	512, 972	83. 9
2007. 1 ~ 7		8, 971		411, 715		30, 723		611, 423	

資 料:「絹人絹織物製造業者の絹織物生産数量」は経済産業省調査。主要3産地の生産量、出荷数量は社団法人日本生糸問屋協会 調査。

備 考:2006年1月以降の西陣の帯生産数量には、帯裏地等を含む。

Source : The Ministry of Economy Trade and Industry and Japan Raw Silk Dealer's Association.

Remarks : Since Jan. 2006, sash livings are included in sash production.

(20)全国全世帯消費支出(円)

Consumption Expenditures of Total Households

区分	消費支b T0t		被服及 Cloth foots	ing&	Jap	D服 anese thing		服 hing	Shir	ンヤツ・セーター Shirts & sweaters		下着類 Underwear	
	(円)	前年 比(%)	(円)	前年 比(%)	(円)	前年比	(円)	前年 比(%)	(円)	前年比	(円)	前年 比(%)	
2003年	302,623	▲ 1.1	13,967	▲ 4.1	520	21.2	5,478	4 .0	2,889	▲ 2.7	1,272	4 .9	
2004年	304,203	0.5	13,572	▲ 2.8	559	10.5	5,257	▲ 3.5	2,936	0.9	1,213	▲ 4.7	
2005年	300,903	▲ 1.1	13,440	▲ 1.0	440	▲ 7.8	5,122	▲ 2.6	2,911	▲ 0.9	1,260	3.9	
2006年	294,943	▲ 2.0	12,776	▲ 1.0	342	▲ 7.8	5,007	▲ 2.6	2,694	▲ 0.9	1,184	3.9	
2007年	297,782	1.0	12,933	1.2	345	0.9	5,066	1.2	2,727	1.2	1,164	▲ 1.7	
2007年5月	293,231	0.4	13,359	▲ 0.6	160	▲ 75.1	4,558	▲ 0.1	3,206	6.5	1,226	0.8	
6月	280,587	0.1	13,730	4.8	407	88.7	4,656	7.4	3,493	5.3	1,355	▲ 2.0	
7月	291,632	▲ 0.1	13,234	▲ 3.0	391	▲ 14.7	4,692	▲ 0.5	3,341	▲ 6.7	1,231	▲ 9.8	
8月	296,035	1.6	9,965	0.7	516	109.3	3,166	▲ 10.0	2,284	▲ 5.8	1,021	▲ 2.4	
9月	281,448	3.2	9,858	▲ 4.0	199	▲ 31.0	3,579	▲ 4.0	2,125	▲ 7.0	986	3.0	
10月	296,984	0.6	13,481	▲ 2.8	244	▲ 59.7	5,212	▲ 2.0	2,948	▲ 1.3	1,315	10.6	
11月	282,836	▲ 0.6	14,292	▲ 0.5	504	185.8	5,773	▲ 9.0	2,692	0.1	1,460	10.9	
12月	351,667	2.2	14,816	▲ 5.8	130	▲ 57.8	6,162	▲ 4.4	2,860	▲ 2.6	1,566	▲ 8.0	
2008年1月	309,826	3.6	13,981	▲ 5.6	504	35.0	6,212	▲ 3.9	2,768	▲ 7.1	1,079	▲ 1.9	
2月	275,565	0.0	10,215	▲ 2.7	308	▲ 41.6	4,351	▲ 6.4	1,864	▲ 1.9	894	11.2	
3月	312,565	▲ 1.6	14,035	▲ 0.8	128	▲ 75.0	6,445	▲ 2.6	2,482	5.3	957	8.4	
4月	310,695	▲ 2.7	12,778	▲ 4.1	86	▲ 52.5	4,965	▲ 7.7	2,509	▲ 3.9	984	▲ 2.5	
5月	288,128	▲ 3.2	12,762	▲ 4.9	211	31.6	4,635	1.3	2,840	▲ 11.7	1,123	▲ 7.7	
6月	281,951	▲ 1.8	11,894	▲ 13.8	123	▲ 70.1	4,206	▲ 10.0	2,934	▲ 16.7	1,081	▲ 19.8	
7月	298,366	▲ 0.5	13,702	3.2	341	▲ 13.1	4,634	▲ 1.5	3,637	9.1	1,346	9.7	

資料:総務省「家計調査報告」。2人以上で構成させる8,000世帯を集計。 備考:「被服及び履物」は右に並ぶ内訳4費目以外の費目も含む。年数値は月平均。

世界主要国の家蚕繭生産高

Domesticated Silkworm Cocoon Production in Major Countries

区	分	2001年	2002年	2003年
		トン	トン	トン
日本	Japan	1,031	880	780
中国	China	512,708	545,497	480,774
インド	India	140,000	128,000	117,000
ベトナム	Vietnam	22,000	21,000	21,000
ブラジル	Brazil	9,916	10,238	9,966
タイ	Thailand	3,473	3,473	10,500
ウズベキスタン	Uzbekistan	20,000	20,000	20,000
イラン	Iran	5,000	3,500	3,200
インドネシア	Indonesia	749	691	
トルコ	Turkey	47	100	169
ブルガリア	Bulgaria	52	50	0.3
ギリシャ	Greece	40	60	60
フィリピン	Philippines	17	28	23
主要国の計	Total	715,033	733,517	663,472

区	分	2004年	2005年	2006年
		トン	トン	トン
日本	Japan	683	626	505
中国	China	547,091	621,461	739,715
インド	India	120,000	126,000	135,000
ベトナム	Vietnam	21,000	21,000	21,000
ブラジル	Brazil	8,005	7,146	8,051
タイ	Thailand	10,650	10,650	10,100
ウズベキスタン	Uzbekistan	20,000	20,000	20,000
イラン	Iran	3,200	2,543	
インドネシア	Indonesia			
トルコ	Turkey	169	170	350
ブルガリア	Bulgaria	20	42	65
ギリシャ	Greece	70	70	100
フィリピン	Philippines	22	14.4	16
主要国の計	Total	730,910	809,722	934,902

- 注1 日本は農林水産省生産局、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会(ABRASSEDA)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会(ISC)の統計値を使用した。
- 注2 不明な数値は空欄とした。ただし、シェアの大きいベトナム、ウズベキスタンは、前者は2003年以降 、後者は2002年以降を不明年の前年と同数量の数値とした。

Note:1Figures of Japan are based on the data of the Agricultural Production Bureau, MAFF.

Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB), Ministry of Textiles in India. Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association (ABRASSEDA).

Others than these countries, based on the data of International Sericulture Commission (ISC).

2 As the figures of Vietnam and Uzbekistan are not reported since 2003 and 2002 respectively, they are deemed to be equal to the most recent data available because they constitute high proportion of total.

世界主要国の家蚕生糸生産高

Domesticated Raw Silk Production in Major Countries

区	分)1年	•	02年	200)3年
		トン	俵	トンリ	俵	トン・	俵
日本	Japan	431	7,200	391	6,500	287	4,800
中国	China	62,560	1,042,700	73,585	1,226,400	83,763	1,396,100
インド	India	15,842	264,000	14,617	243,600	13,970	232,800
ベトナム	Vietnam	2,000	33,300	2,250	37,500	2,250	37,500
ブラジル	Brazil	1,484	24,700	1,607	26,800	1,563	26,100
タイ	Thailand	1,500	25,000	1,500	25,000	1,500	2,500
ウズベキスタン	Uzbekistan	1,100	18,300	1,100	18,300	1,100	18,300
イラン	Iran	770	12,800	630	10,500	500	8,300
インドネシア	Indonesia	110	1,800	91	1,500		
トルコ	Turkey	7	100	17	300	28	500
ブルガリア	Bulgaria	7	100	7	100	0	0
ギリシャ	Greece	4	100	4	100	4	100
フィリピン	Philippines	1 i	0	3 1	100	3	100
主要国の計	Total	85,816	1,430,100	95,802	1,596,700	104,968	1,727,100

区	分	200	04年	200	05年	200)6年
		トン	俵	トン	俵	トン	俵
日本	Japan	263	4,400	151	2,500	119	2,000
中国	China	80,231	1,337,200	87,761	1,462,700	93,105	1,552,000
インド	India	14,620	243,700	15,445	257,400	16,525	275,400
ベトナム	Vietnam	2,250	37,500	2,250	37,500	2,250	37,500
ブラジル	Brazil	1,512	25,200	1,285	21,400	1,387	23,100
タイ	Thailand	1,420	23,700	1,420	23,700	1,080	18,000
ウズベキスタン	Uzbekistan	1,100	18,300	1,100	18,300	1,100	18,300
イラン	Iran	500	8,300	395	6,600	i	
インドネシア	Indonesia			Ī		į	
トルコ	Turkey	28	500	30	500	25	400
ブルガリア	Bulgaria	3 !	100	6 !	100	5 !	100
ギリシャ	Greece	4.5	100	4 !	100	4 !	100
フィリピン	Philippines	3	100	1.1	0	1.6	0
主要国の計	Total	101,935	1,699,100	109,848	1,830,800	115,602	1,926,900

- 注1 日本は農林水産省生産局、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局 (CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会(ABRASSEDA)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国 際養蚕委員会(ISC)の統計値を使用した。
- 注2 不明な数値は空欄とした。ただし、シェアの大きいベトナム、ウズベキスタンは、前者は2003年以降、 後者は2002年以降を不明年の前年と同数量の数値とした。
- Note:1 Figures of Japan are based on the data of the Agriculyural Production Bureau, MAFF.
 - Figures of China are based on the data of the China Silk Association.
 - Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB), Ministry of Textiles in India. Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association(ABRASSEDA).
 - Others than these countries, based on the data of International Sericulture Commission (ISC).
 - 2 As the figures of Vietnam and Uzbekistan are not reported since 2003 and 2002 respectively, they are deemed to be equal to the most recent data available because they constitute high proportion of total.

中国省別桑園面積·家蚕繭生産量·生糸生産量·製糸工場数 Mulberry Farm Area, Domesticated Cocoon Production, Raw Silk Production, and Number of Filatures in China

				桑園面積		家	医酶生産量	<u></u>		生糸生産量	
		区分		berry Farm <i>F</i>		II .	ed Cocoon F		I .	silk Product	
	•		(10,000ha、%	•	(F:	ン、%)(MT,		(トン、%)(MT, %)		
省 Pro	vince		2005	2006	対前年比 2006/05	2005	2006	対前年比 2006/05	2005	2006	対前年比 2006/05
山	西	Shanxi	0.82	1.10	135	3,913	5,602	143	196	175	89
上	泊	Shangha i	0.03	-	-	408		-	_	-	-
江	薊	Jiangsu	9.08	8.98	99	100,539	117,800	117	18,580	20,186	109
浙	汩	Zhejiang	7.04	7.40	105	74,838	85,122	114	20,530	19,051	93
安	徘	Anhu i	4.67	5.47	117	33,900	37,596	111	3,890	4,038	104
江	西	Jiangxi	1.63	1.90	116	10,577	12,110	114	1,650	1,676	102
山	東	Shandong	5.00	5.00	100	36,845	39,700	108	6,800	6,253	92
河	南	Henan	2.20	2.73	124	8,600	13,390	156	300	318	106
湖	ᆀ	Hube i	2.53	2.79	110	13,583	15,706	116	650	536	83
湖	南	Hunan	0.61	0.69	112	3,663	4,100	112	45	50	111
広	東	Guangdong	2.53	5.33	211	34,300	68,750	200	1,100	1,138	103
広	西	Guangxi	9.40	12.00	128	148,460	185,000	125	6,600	8,020	122
重	熳	Chongqing	7.93	7.93	100	31,000	23,828	77	6,500	6,490	100
四	JI	Sichuan	10.67	10.67	100	77,500	77,800	100	17,510	21,914	125
貴	州	Guizhou	0.58	0.63	108	1,199	1,254	105	_	1	_
雲	南	Yunnan	5.27	6.25	119	20,095	31,477	157	1,550	1,335	86
陜	西	Shaanx i	4.80	5.00	104	20,272	18,498	91	1,775	1,657	93
甘	粛	Gansu	0.62	0.65	104	537	613	114	_	1	_
寧	夏	Ningxia	0.28	0.33	120	413	475	115	30	59	197
新	强	Xinjiang	0.50	0.73	145	819	895	109	55	_	
内	蒙古	Inner Mong	ı	-	_	_	-	_	_	208	_
合	Ē	Total	76.20	85.57	112	621,461	739,715	119	87,761	93,105	106

	糸工場数(作 er of Filat	
2005	2006	前年比 2006/05
702	710	101

資料:中国絲綢協会資料による

注:合計はラウンドの関係で一致していない。

Source: China Silk Association

Note: Total may not add up due to round off.

中国省別家蚕繭生産量の推移 Domesticated Cocoon Production in China (1995年~2006年)

(単位:万トン)(Unit: 10,000ton)

4-t-dr.T	A	10054	1000年	1007Æ	1000年	1000Æ	0000Æ	0001Æ	0000Æ	0000Æ	l			, 000 ton) 前年比
地域	Area	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	06/05(%)
北	R Beijing													
天	⊉ TianJin													
河	比 Hebei	0.1	0.1		0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1				
Щ	₫ Shanxi	0.7	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4	0.6	150.0
内蒙市	Inner Monglia													
遼	Liaoning													
吉 ‡	木 Jilin													
黒龍	I Heilongjiang													
上	∰ Shanghai	0.3									0.0	0.0		
江 第	某 Jiangsu	18.6	9.2	8.6	8.5	8.2	9.0	10.1	11.9	10.7	11.1	10.1	11.8	116.8
浙	I Zhejiang	12.2	8.4	9.5	10.4	9.4	9.5	11.0	9.9	7.9	7.6	7.5	8.5	113.3
安(数 Anhu i	4.0	2.4	2.4	2.5	2.1	2.5	2.7	2.8	2.6	2.7	3.4	3.8	111.8
福	⊉ Fujian													
江區	₫ Jiangxi	1.6	0.8	0.5	0.4	0.3	0.3	0.5	0.7	0.8	1.0	1.1	1.2	109.1
山 🧓	₹ Shandong	5.0	4.1	3.4	4.2	4.2	5.3	6.9	6.9	6.7	3.5	3.7	4.0	108.1
河 [有 Henan	1.8	1.3	1.3	0.6	1.2	1.3	1.5	1.7	1.1	0.7	0.9	1.3	144.4
湖	比 Hubei	2.2	1.2	1.2	1.4	1.4	1.2	1.2	1.3	1.2	1.1	1.4	1.6	114.3
湖 ፣	有 Hunan	0.3	0.2	0.1	0.1			0.1	0.1	0.2	0.4	0.4	0.4	100.0
広 5	E Guangdong	3.3	2.2	2.1	2.1	2.3	3.1	4.5	5.3	5.2	2.7	3.4	6.9	202.9
広 區	₫ Guangxi	2.1	1.7	1.5	1.8	1.9	3.0	5.6	7.4	8.7	9.2	14.8	18.5	125.0
海下	有 Hainan													
重原	& Chongqing				2.9	2.4	3.0	3.2	3.4	2.8	2.6	3.1	2.4	77.4
四月	II Sichuan	20.3	12.2	8.5	9.3	8.1	8.7	9.2	9.3	9.3	8.3	7.8	7.8	100.0
貴	M Guizhou	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	100.0
雲原	有 Yunnan	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.9	1.1	1.3	1.9	2.0	3.1	155.0
チベッ	h Tibet													
陝	5 Shaanxi	1.8	1.5	1.4	1.6	1.5	1.5	1.6	1.7	1.9	1.6	2.0	1.8	90.0
甘声	南 Gansu										0.1	0.1	0.1	100.0
青	ij Qinghai													
寧」	N ingxia										0.0	0.0	0.0	
新引	置 Xinjiang	0.6	0.3	0.3	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	100.0
合 į	† Total	76.0	47.1	42.3	47.5	44.7	50.1	60.2	64.5	61.1	55.0	62.2	73.9	118.8
答判 . ?	1003年までは中国					1.4年以際			Arr shed a — I	7				

資料:2003年までは中国国家統計局「中国統計年鑑」、2004年以降は中国絲綢協会資料による。

合計はラウンドの関係で一致していない。 Source: Until 2003, "China Statistical Yearbook" National Bureau of Statistics of China Since 2004, China Silk Association

Note: Total may not add up due to round off.

中国のシルク類の輸出状況

Silk Exports of China

(2007年1月~12月)

					蚕生糸を含む		
			Raw Slik (tu	ssan siik an	d wild raw silk included)		
			数量 Qu	antity	金額 Ar		
	相手国	Country	χ <u>ε</u> (Kg		(百万US		
			(Ng	,	(USD1,00	00,000)	
			2007年実績	07/06(%)	2007年実績	07/06(%)	
1	インド	India	8,761,294	257.50	207.499	219.07	
2	イタリア	Italy	984,361	85.90	26.280	76.46	
3	韓国	South Korea	904,656	143.26	24.108	122.35	
4	日本	Japan	776,997	123.68	21.534	96.31	
5	ルーマニア	Romania	489,511	ı	12.194	ı	
6	ベトナム	Vietnam	482,640	155.90	11.992	115.11	
7	パキスタン	Pakistan	262,751	141.70	6.231	122.95	
8	バングラデッシュ	Bangladesh	232,782	342.63	5.454	297.22	
9	アラブ首長国連邦	United Arab Emirates	227,815	546.76	5.523	459.87	
10	タイ	Thailand	77,551	396.86	2.064	373.24	
11	その他	Others	552,798	197.73	14.239	174.45	
	合計	Total	13,753,156	204.91	337.118	169.93	

			絹糸 Spun Silk Yarn					
	相手国	Country	数量 Qu (Kg	,	金額 Amount (百万USドル) (USD1,000,000)			
			2007年実績	07/06(%)	2007年実績	07/06(%)		
1	イタリア	Italy	689,599	80.35	20.953	75.19		
2	ドイツ	Germany	502,424	109.64	17.232	105.11		
3	インド	India	477,188	109.61	12.711	89.75		
4	日本	Japan	446,723	58.08	13.973	48.77		
5	パキスタン	Pakistan	370,953	114.06	10.268	101.93		
6	タイ	Thailand	121,009	91.61	3.557	83.28		
7	韓国	South Korea	116,707	200.41	3.745	194.04		
8	トルコ	Turkey	42,935	133.41	1.729	143.72		
9	インドネシア	Indonesia	35,227	136.63	0.904	110.78		
10	ブラジル	Brasil	28,062	_	0.863	_		
11	その他	Others	147,452	151.91	5.025	147.71		
	合計	Total	2,978,279	93.32	90.960	83.62		

_								
			絹織物 Silk Fabrics(>85%Silk)					
	相手国	Country	数量 Qu (メートル)		金額 Amount (百万USドル) (USD1,000,000)			
			2007年実績	07/06(%)	2007年実績	07/06(%)		
1	インド	India	73,950,336	136.02	172.531	124.92		
2	イタリア	Italy	30,886,756	110.71	105.778	105.53		
3	香港	Hong Kong	26,520,128	115.26	114.749	118.97		
4	パキスタン	Pakistan	20,306,364	75.91	41.563	77.57		
5	韓国	South Korea	19,590,513	85.01	73.636	86.47		
6	日本	Japan	12,961,633	88.53	33.084	83.48		
7	アメリカ	United States	8,833,028	89.97	51.711	93.50		
8	シンガポール	Singapore	7,608,011	53.18	15.869	38.34		
9	アラブ首長国連邦	United Arab Emirates	5,370,503	104.27	16.772	99.96		
10	フランス	France	4,562,695	103.47	17.175	109.10		
11	その他	Others	24,301,715	88.31	86.515	90.14		
	合計	Total	234,891,682	101.72	729.383	98.79		

資料:中国税関

Source: Customs General Administration in China

中国のシルク類の輸出状況

Silk Exports of China

(2008年1月~8月)

			# 4	. / 比 表 4.	昭素 出くたる	->)			
			生糸(柞蚕糸、野蚕生糸を含む) Raw Silk (tussah silk and wild raw silk included)						
			Raw Silk (t	ussah silk a					
			数量 Qu	antity		mount			
	相手国	Country	数里 Qui		(百万し	ISドル)			
			(Ng)	(USD1,0	(000,000			
			2008年実績	08/07(%)	2008年実績	08/07(%)			
1	インド	India	6,153,203	113.00	146.517	101.14			
2	ルーマニア	Romania	763,717	323.44	20.147	343.02			
3	イタリア	Italy	654,637	98.12	18.406	102.77			
4	日本	Japan	563,760	123.08	16.300	127.82			
5	ベトナム	Vietnam	559,491	179.69	14.744	190.15			
6	韓国	South Korea	490,604	81.58	12.929	79.86			
7	アラブ首長国連邦	United Arab Emirates	138,178	84.73	3.285	80.97			
8	パキスタン	Pakistan	124,634	74.57	3.007	74.30			
9	バングラデッシュ	Bangladesh	113,990	74.54	2.695	74.79			
10	タイ	Thailand	60,985	107.26	1.561	100.34			
11	その他	Others	422,782	119.91	11.056	120.46			
	合計	Total	10,045,981	108.59	250.647	110.04			

			絹糸 Spun Silk Yarn					
	相手国	Country	数量 Qua (Kg		金額 Amount (百万USドル) (USD1,000,000)			
			2008年実績	08/07(%)	2008年実績	08/07(%)		
1	イタリア	Italy	666,409	152.18	20.926	155.03		
2	日本	Japan	486,575	184.67	15.326	182.42		
3	インド	India	342,909	103.75	9.425	106.12		
4	ドイツ	Germany	287,584	93.12	10.051	93.21		
5	パキスタン	Pakistan	238,450	85.34	6.692	86.17		
6	タイ	Thailand	166,868	293.74	4.938	278.69		
7	トルコ	Turkey	44,997	161.44	1.658	152.63		
8	インドネシア	Indonesia	31,690	120.90	0.871	128.13		
9	香港	Hong Kong	27,043	860.15	0.851	889.65		
10	韓国	South Korea	24,260	30.52	0.878	34.60		
11	その他	Others	78,486	64.04	2.815	69.08		
	合計	Total	2,395,271	123.71	74.431	124.94		

相手国		Country	絹織物 Silk Fabrics(>85%Silk)				
			数量 Quantity (メートル)(meter)		金額 Amount (百万USドル) (USD1,000,000)		
			2008年実績	08/07(%)	2008年実績	08/07(%)	
1	インド	India	38,813,956	75.83	90.593	75.82	
2	イタリア	Italy	29,408,869	168.17	95.124	146.32	
3	香港	Hong Kong	17,360,194	107.69	76.279	107.15	
4	韓国	South Korea	13,466,525	101.32	52.557	106.44	
5	パキスタン	Pakistan	9,727,104	94.30	21.149	103.08	
6	日本	Japan	9,629,732	122.87	25.236	126.43	
7	アメリカ	United States	5,760,804	102.82	32.368	97.47	
8	マレーシア	Malaysia	4,969,911	209.37	17.050	221.65	
9	アラブ首長国連邦	United Arab Emirates	4,686,190	153.11	15.214	163.82	
10	シンガポール	Singapore	3,892,680	70.75	9.427	85.30	
11	その他	Others	22,104,668	199.43	79.932	136.34	
	合計	159,820,633	107.36	514.929	110.64		

資料:中国税関

Source: Customs General Administration in China

ブラジルの繭・生糸生産量推移 Cocoon and Raw Silk Production in Brazil

シルク年度	繭生産量			
Silk Year	Cocoon			
(9~8月)	Production			
(Sep-Aug)	(トン)(Ton)			
1985/86	11,353			
1986/87	10,575			
1987/88	11,830			
1988/89	11,470			
1989/90	15,829			
1990/91	17,221			
1991/92	17,586			
1992/93	19,134			
1993/94	18,260			
1994/95	16,260			
	15,368			
1995/96	(95%)			
4000/07	14,811			
1996/97	(96%)			
	14,594			
1997/98	(99%)			
1000/00	10,305			
1998/99	(71%)			
1000 /0000	8,473			
1999/2000	(82%)			
0000 /01	9,916			
2000/01	(117%)			
0001 /00	10,238			
2001/02	(103%)			
0000 (00	9,966			
2002/03	(97%)			
0000 (0.4	8,005			
2003/04	(80%)			
0004/05	7,146			
2004/05	(89%)			
0005 /00	8,051			
2005/06	(113%)			
	8,617			
2006/07	· ·			
	(107%)			
2007/08	7,007			
(見込み) (Estimate)	(81%)			
(Esumate)	(31/0/			

麻 左	生糸生産量	生糸生産量 Raw Silk Production		
暦年	Raw Silk			
Calendar Year	Production	(俵換算)		
	(kg)	(Bale value)		
1985	1,553,776	25,896		
1986	1,663,976	27,733		
1987	1,658,375	27,640		
1988	1,748,996	29,150		
1989	1,696,622	28,277		
1990	1,693,206	28,220		
1991	2,077,155	34,619		
1992	2,296,053	38,268		
1993	2,325,809	38,763		
1994	2,535,440	42,257		
1005	2,467,524			
1995	(97%)	41,125		
1000	2,242,000	07.007		
1996	(91%)	37,367		
4007	2,120,129	25.225		
1997	(95%)	35,335		
1222	1,820,745			
1998	(86%)	30,346		
1000	1,553,722	25.225		
1999	(85%)	25,895		
2000	1,389,356	00.150		
2000	(89%)	23,156		
2001	1,484,905	24,748		
2001	(107%)	24,740		
2002	1,607,485	26,791		
	(108%)	20,701		
2003	1,562,563	26,043		
	(97%)			
2004	1,512,133	25,202		
	(97%)	,		
2005	1,284,510	21,409		
	(85%)			
2006	1,387,289	23,121		
2000	(108%)	20,121		
2007	1,219,562	20,326		
	•			
2008	1 222 205			
(見込み)	1,223,305	20,388		
(Estimate)	(100%)	,		
		-		

資料:ブラジル製糸協会 注:()内は対前年比

〔〕内の見込みは2008年1月現在

Source: ABRASSEDA

Note: Figures in parenthesis are compared to the previous year.

Estimates are as of January 2008.

ブラジル生糸、絹撚糸及び副蚕糸の内需・輸出別販売状況

Domestic Demand and Exports of Raw Silk, Twisted Silk Yarn, and Secondary Silk Yarn in Brazil

単位:トン, ()内は60kg俵 Unit: ton, Figures in Parenthesis: Bales of 60kg

		2000	0004 <i>5</i>		igures in Pare		
区分		2003年実績	2004年実績	2005年実績	2006年実績	2007年実績	07/06 (%)
生糸	内需	90	106	118	72	84	440.7
Raw Silk	Domestic Demand	(1, 503)	(1, 770)	(1, 971)	(1, 202)	(1, 403)	116. 7
	輸出	1, 057	837	676	782	876	112. 0
	Export	(17, 652)	(13, 978)	(11, 289)	(13, 059)	(14, 629)	112.0
	計	1, 147	943	794	854	960	112. 4
	Total	(19, 155)	(15, 748)	(13, 260)	(14, 262)	(16, 032)	112. 4
絹撚糸	内需	77	71	92	74	78	10-
Twisted Silk Yarn	Domestic Demand	(1, 286)	(1, 186)	(1, 536)	(1, 236)	(1, 303)	105. 4
	輸出	431	516	454	392	274	69. 9
	Export	(7, 198)	(8, 617)	(7, 582)	(6, 546)	(4, 576)	09.9
	計	508	587	546	466	352	75. 5
	Total	(8, 484)	(9, 803)	(9, 118)	(7, 782)	(5, 878)	75.5
糸類計	内需	167	177	210	146	162	444.0
Total	Domestic Demand	(2, 789)	(2, 956)	(3, 507)	(2, 438)	(2, 705)	111.0
	輸出	1, 488	1, 353	1, 130	1, 174	1, 150	98. 0
	Export	(24, 850)	(22, 595)	(18, 871)	(19, 606)	(19, 205)	90. 0
	計①	1, 655	1, 530	1, 340	1, 320	1, 312	99. 4
	Total ①	(27, 639)	(25, 551)	(22, 378)	(22, 044)	(21, 910)	33.4
副蚕糸	内需 Domestic Demand	264	123	43	84	72	85. 7
Secondary Silk Yarn	輸出 Export	217	386	295	241	256	106. 2
	計② Total②	481	509	338	325	328	100. 9
	2/1	29. 1	33. 3	25. 2	24. 6	25. 0	

資料:ブラジル製糸協会

注:俵換算は、合計で一致しない場合がある。

Source: ABRASSEDA

Note: Bale value may not add up.

※「シルクレポート」の主要記事と統計データは、当支援センターのホームページでもご覧になれます。

http://www.silk-teikei.jp/index.html

シルクレポート 2008 年 11 号 NO. 3 平成 20 年 11 月 1 日発行

編集 / 発行 (財) 大日本蚕糸会 蚕糸・絹業提携支援センター

(問い合わせ先) 〒 100-0006 東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 5 階

TEL: 03-3214-3500 FAX: 03-3214-3511

URL:http://www.silk-teikei.jp/index.html

製本/印刷 株式会社 正大印刷社

無断転載禁ず